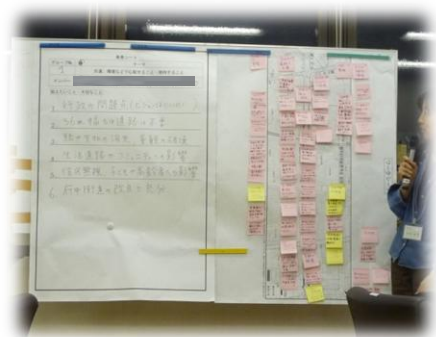


3 平成24年5月18日（金）≪3日目≫

小平3・2・8号線まちづくりワークショップ
スケジュール表(3日目)

【テーマ】～交通、環境などで心配すること・期待すること～

午後7時00分～午後7時05分	5分	開会・主催者挨拶・事務局紹介
午後7時05分～午後7時10分	5分	ワークショップの進め方の説明
午後7時10分～午後7時25分	15分	前回（4月27、28日）の振り返り
午後7時25分～午後7時45分	20分	各グループ自己紹介
午後7時45分～午後8時30分	45分	第3回話し合い
午後8時30分～午後8時55分	25分	各グループ発表（1グループ5分程度）
午後8時55分～午後9時00分	5分	明日（19日）の予定説明
午後9時00分		閉会



【ワークショップの様子】

1グループ

《発表シート》

グループ番号	1	メンバー人数	7名		
メンバー構成(お住まいの地域)					
津田町1丁目	4名	上水本町1丁目	1名	上水本町3丁目	1名
小川町1丁目	1名				
発表シート記入事項 (テーマ:交通、環境などで心配すること・期待すること)					
<p>(1) 行政の問題点 (ビジョンはいいのに・・・)</p> <p>(2) 36m幅もの道路は不要</p> <p>(3) 緑や生物の消失、景観の破壊</p> <p>(4) 生活道路やコミュニティへの影響</p> <p>(5) 住民無視、子どもや高齢者への影響</p> <p>(6) 府中街道の改良で十分</p>					

《1グループ発表議事録(発表順:1番目)》

環境、交通などで心配することについて、ポイントを6点でまとめた。

1点目はまず「行政の問題点」である。小平市は、「第三次長期総合基本計画」で、ここの辺りは農住地域で、緑が豊かな地域にしていくと書いているはずなのに、それが道路を造ることと矛盾しているのではないかということ。この間行われた「花いっぱい」の全国大会で、市長が小平の緑を守りたいと言っていたが、実際、3・3・8を造ることで、緑が破壊されてしまうということについてどう思うのか、聞いてみたいと思う。あと、現在、東京都がこの道路に関する環境影響評価書案への見解書を発表したけど、そこに書かれている内容は、地域の住民の意見を無視しているものなので、是非みなさんにも読んで欲しいと思う。だから、小平市はいいビジョンを持っているはずなのに、それを実現していくための方策ができていないのではないかということである。

2点目は、36m幅もの道路はいらないのではないかということである。4万台もの自動車が通ると予測されているが、あの道路ができたらどういう生活になるのか、とても恐ろしいという意見があった。環境やコミュニティへの影響が大きすぎる、広い道路は通過交通を呼ぶだけで、市民にとっては迷惑になるのではないか。広い道路を造ることでスピードを出す車が増えて地域の安全性も脅かされるのではないか。そもそも、この道路は、渋滞の解消のためと言っているけれども、交通量は今後減る方向にあって、少子高齢化を見越して、きちんと交通量予測を、正しい交通量予測をして欲しいという意見が出された。

この36m幅の道路を造ることで、環境への影響としては、緑やそこに住む生き物が失われるということが大きいと思う。中央公園横の雑木林の大半が消失する。また、玉川上水とその両側の緑道が、36m幅で分断されることによって、数百本の木が切られ、そこに生息する生き物も同時に失われることになる。あの雑木林は、渡り鳥が休息する場でもあり、キンランやギンランなどが見られる場でもあるのが、無くなってしまふ、大半が失われるのが寂しい、もったいないということである。あと、あの林には、都心にはもうあまり見られなくなった蝉のヒグラシがまだ残っていて、そのカナカナという声が聴かれなくなってしまうかもしれないということも、とても心配だという意見が出た。あと、同時に新堀用水が、玉川上水と平行に走っているが、その新堀用水も36m幅に渡って、コンクリートで固められる予定になっているので、そうしたら、折角そこで生きている魚や水中生物などの生き物が見られなくなってしまうのは問題だという意見もあった。生き物も失われるが、人々が安らぐ場である緑が失われることで、人々の心への影響もあると思う。折角の景観が、緑の景観が失われてしまふ、もったいないという意見があった。

あと、地域のコミュニティや生活道路に与える影響を心配する声もあった。生活道路に入る車が少なくなるということを言われているけれども、それは反対ではないか。証明がきちんとなされていないという意見があった。この幅が広い道路ができることによって、地域の住民にとっての行き来、往来が遮断され、生活がやりにくくなるという意見があった。広い道路ができたら、かえって泥棒が増えるのではないかという意見もあった。泥棒が逃げやすい道路ができると言っていた。また、道路ができると、府中街道と新しい3・3・8に挟まれる三角地帯が生じるが、そこに住む人にとっては、今の

良い環境が最悪の環境になってしまう。この事実を直視して欲しいという意見が出された。

特にコミュニティの影響としては、子供や高齢者などへの影響が大きいと思う。子供が身近に自然に触れられる場が失われてしまう。子育てもしにくくなる。高齢者は広い道路を渡るのが億劫で、ひきこりのような状態になるのではないか。広い道路をスピードを出して走る車は凶器にもなるもので、子供たちが自由に遊べる場が益々なくなってしまうのではないかという意見が出された。

最後に、府中街道の改良で十分ではないかという意見が何点か出た。府中街道とたかの街道の交差点に「すいすいプラン」を導入するとか、府中街道の拡幅整備、クランクの解消で十分ではないか、という意見が出されていた。



《グループ内で出されたその他の意見》

【テーマ】交通、環境などで心配すること・期待すること

〈行政の矛盾〉

- ◆小平三次長総基本構想と、照合してみると農住地域を目指すには3・3・8は不要。いい表情（かお）を持つ、この地がいい郷であり続けるに反する
- ◆緑が豊かな武蔵野の自然に囲まれ、環境に優いまちが目的だというのが、3・3・8はこれを破壊。
- ◆例えば緑の項で宅地や空間地の緑化を進めるとしているが、3・3・8は既にあるものを壊わそうとしている。
- ◆市長は花いっぱい全国大会で小平の緑を残す、守るといっている。3・3・8との関連はどうなっているのか。市長と話し合いを持たせてほしい。
- ◆見解書は、地域住民の意見を無視している。メンバーの方に読んでほしい。

〈36mもの道路は不要〉

- ◆計画交通が環境を破壊する（大気汚染、騒音、振動）
- ◆広い道路は東西に広い小平市の分断になる
- ◆4万台の自動車を通る。おそろしいこと。耐えられない。
- ◆道を広げれば広げるほど環境やコミュニティ破壊が大きい
- ◆街路樹のために巾を広げるのは無意味
- ◆道路を広げれば通過車が増えるだけ。（小平市民にめいわく）
- ◆広い道路は車の速度、スピードを出すことになる。
- ◆36m渡り切れるか ◆新しい道路は渋滞の解消にならない
- ◆渡れる所を多くすれば道路を作る意味がなくなる。
- ◆いま、府中街道は、2万台／1日 これから減る。新しい道路は不要。
- ◆少子高齢化を見越した交通量予測を
- ★まともな返事 住民が納得する or 住民の意見を取り入れる説明会

〈生物や緑の消失〉

- ◆中央公園横の雑木林の大半が消失する。
- ◆玉川上水と両側の緑道が36m幅で分断される
- ◆3・2・8によって緑（雑木林、上水の樹林）が失われる。
- ◆木が数百本も切られ、そこに生息する生物も同時に失われ、夏はますます暑くなる
- ◆雑木林や玉川上水に生えているキンラン ギンランなどが見れなくなる。
- ◆雑木林の大半が消失することで、渡り鳥が生息する場がなくなる。
- ◆雑木林に残っている都心ではほとんどみられなくなったヒグラシの声が聞けなくなる
- ◆新堀用水が36mにわたってコンクリートで固められ、水生生物が住めなくなる。

- ◆赤い付箋(心配すること)
- 青い付箋(期待すること)
- ★黄色い付箋(改善策)

〈景観の破壊〉

- ◆緑でホッとする空間、風景が失われ、人々が感じるやすらぎが失われる。

〈生活道路やコミュニティへの影響〉

- ◆生活道路の渋滞がなくなるというが逆ではないか。きちんと証明ができていない
- ◆3・2・8によって住民の交通（生活道路）が遮断される
- ◆ドロボーが増えそう 逃げるのに便利

〈住民無視〉

- ◆三角地帯に残る一人。この地域は棄民（きみん）の住み家になる。最良の住居環境が最低の環境になる。この事実を直視してほしい。

〈府中街道の改良〉

- ◆小平市は府中街道の改良を都に強くうったえることが大切。

〈子どもや高齢者への影響〉

- ◆子ども達が身近に自然に触れる場が失われる
- ◆広い道路は高齢者、子供が渡れなくなる
- ◆車はきょうきでもある。→子育てに影響
- ◆子どもや高齢者がひきこもり？
- ★府中街道、鷹の街道交差点にスイスイプラン（府中街道に右折車線を）
- ★府中街道の拡幅・整備を期待する。
- ★クランク解消でじゅう帯解消
- ★このままの景観を大事に！＝建設中止！！ほっとくだけでなく、景観の維持のために努力せよ！

〈その他〉

- ◆自家用車を使う時代から公共交通を充実する時代へ
- ◆車の交通量がふえて空気がわるくなる。
- ◆商店街がなくなると買い物が不便
- ◆もし仮に道路を作るにしても一車線で良いのでは？

2グループ

《発表シート》

グループ番号	2	メンバー人数	7名
メンバー構成(お住まいの地域)			
津田町1丁目	2名	小川町1丁目	1名
たかの台	1名		
上水本町1丁目			3名
発表シート記入事項 (テーマ:交通、環境などで心配すること・期待すること)			
<p>(1) <u>交通量予測が過大で疑問</u></p> <p>(2) <u>大気汚染、騒音が心配 たかの台幼稚園、一小</u></p> <p>(3) <u>小平市の自然環境が破壊される</u></p> <p>(4) <u>公園の緑 防災拠点に必要 人が集まる場所 延焼防</u> <u>止</u></p> <p>(5) <u>200超の立ち退きをせまるほどのコミュニティ破壊</u> <u>することの妥当性</u></p> <p>(6) <u>暴走族が増えないか？</u></p>			

《2グループ発表議事録(発表順:4番目)》

今回のメンバーは全員男性で、おそらく仕事を辞めて引退された方が中心であった。みなさん、非常によく勉強されており、難しい用語が結構出ていた。私は発表者として手を挙げた訳ではなくて遠慮していたが、私が一番若く、おそらく一番永く小平市に住むのではないかと考えて推薦されたので、私が発表することにした。

まず、交通と環境ということだが、熱心にいろいろなことを勉強している方が多かった。どうしても交通量予測のところに頭がいつてしまうようで、みんなから意見が挙がっていた。だいたいこのへんに書かれていることが、交通量予測は過大ではないか、右肩上がり時代はすでに終わっているのではないか、巨大な道路を今から造ってどんどん町を発展させる時代ではないのではないかと、というような意見が多かった。その中で、府中街道に関しては改善が必要というところは、みんなが心配しているところである。小平市の構想がどうなっているのかということもみんなが言っていたが、道路を通すだけで、街をどうしていくのかということに関しての、小平市長であったり、小平市であったりの意見がはっきりしていないので、「通過交通に見える」ということがあって、どうしても一番の交通量予測にいくのだと感じた。

次が「大気汚染、騒音が心配」というところだが、やはり、たかの台幼稚園や一小が近くにあるということが出ていた。それに関しては特に、市道で測定した例を持ってきた方がいて、実際交差点のところは高い値が出ているという例があることを書いた人がいた。つまり、もっと影響があることを危惧しているのだと思う。

3番目は、「小平市の自然環境が破壊される」ということで、言うまでもないが、小平市が好きな理由として緑が多いところとして住んでいると、自己紹介の中でもみんなが言っていたことである。そういうことがあって、緑を破壊される量が多いので心配しているのだと思う。

4番が、やっといままでの発表では出てこなかった切り口なのだが、東京都のパンフレットに防災時に有効だとか、延焼の防止だとか書かれているが、私も震災の時、東京五反田から歩いて帰ってきたが、車より足の方が速かった。道路が防災の時に強いというのはどうなのかということを感じた。延焼の防止は、一定の効果はあるかもしれないが、よく考えてみると公園の緑こそ延焼防止となるという意見が出ていた。それから人が集まる場所。本能的に、みんな何かあった時に、コンクリートが壊れている隙間に集まるのではなく、緑のところには人が集まるのではないかと意見が出され、なるほどそうだなと感じ、緑は人が集まる場所という役目もあるのではないかと思った。防災時の役割として公園の緑を見直して評価する必要があるのではないかと。

5番目だが、「200超の立ち退きを迫るほどのコミュニティ破壊することの・・・」と書いたが、今回、立ち退きになる方が2名含まれている。「妥当性」と書いたが、実際のところ、メリットもなくはないのだろうということで2つあるのだが、府中街道を夜、物流車が全力で走っていてすごうるさい。私自身が近隣住民として住んでいるので自分も感じていることであり、他にも何人もそういう人がいる。それができれば、少しは物流車が減るのではないかと書いています。それから、中央高速の府中インターチェンジとか、医療センターに向かう時に短くなるという一定のメリットを感じる人はいるだろう。しかし、そうは言っても、本当にこの200超の立ち退きを迫るほどの、コミ

ユニティを壊してしまうほどの妥当性が本当にあるのかということが、みんなから強い意見として出ていることである。

6番目は面白かったので書いたところもあるのだが、暴走族が増えないかと言っている人がいた。久しぶりの言葉が新鮮だったので、6番目に記入した。確かに真っすぐで4車線あるので、すごくスピードを出せる場所になるのではないかと、6市を一気に4車線で走るというのが、もしかしたら魅力的な場所になるのかなという人がいて、私もそうだなということで、6番に加えた。



《グループ内で出されたその他の意見》

【テーマ】交通、環境などで心配すること・期待すること

〈期待すること〉

- 夜間に狭い府中街道を全力で大型車が走る事がへる。
- 府中インタチャンジ 府中医療センターまでのアクセスがよくなる

〈心配すること〉

- ◆都が設定している交通量は過大ではないか
- ◆交通量の数がおかしい
- ◆東京湾アクアライン道の推定予想が間違っただけに行政の交通量予測は信じられない
- ◆右肩上りの時代は終わった。交通量が22%も伸びないのではないか
- ◆（交通需要1）都の資料は過大34,000台/日
府中街道実測下水道館19,962台/日 市報5月5日
- ◆（交通需要2）高令社会では自動車は減少する。
- ◆通過交通のための道路になってしまうのでは
- ◆3・2・8は部外者のための通過道路になるだろう。
- ◆3・2・8は周辺地域にとっては、単なる通過道路となる。
- ◆通過交通のために、転居を強いられ、公害を受けるのは不当
- ◆住民健康への影響に看過できない大気汚染物質が評価から除外されている。
PM2.5など
- ◆環境省も排ガスと子どものゼン息の因果関係を認めた。小平の小学生のゼン息が増える事が明らか。心配である。
- ◆大気汚染測定3・2・8と府中街三角地帯 合わせて
- ◆自動車は走り易くなり、周辺の騒音は大きくなる。
- ◆騒音 都の資料は予測値であって実際の値より小さい。
予測最大64db 実際72db（交差点）市報5月5日69db（沿道）
- ◆第一小の環境影響の予測・評価 しなおし
- ◆緑を破壊しないで欲しい。
- ◆公園の緑 地震時の防災にも重要
- ◆いま首都直下地震の危機が叫ばれているが、その検討結果によってこの道路の意味や形が変わるのでは？
- ◆暴走族の活動の場になる。
- ◆たかの台幼稚園の予測・評価のしなおし
- ◆上水通りから幹線への流入をどうするか。拡幅や交差点の形が大切になる。
- ◆3・2・8建設以前のコミュニティを維持するには、3・2・8は大障害になる。
- ◆現在の府中街道より、3・2・8は歩行者の横断が困難になる。

- ◆赤い付箋(心配すること)
- 青い付箋(期待すること)
- ★黄色い付箋(改善策)

- ◆通過道路にしないためには、鷹の街道、上水通りからの流入をどうするのか
市道を改善するのか？
- ◆この道路の基本性格がわからない。南北の重点道路というだけでは
- ◆なぜブツ切れで提案しているのか 名前を変えるのはなぜ？

〈改善策〉

- ★小平市が3・2・8号線と街づくりの構想を具体的にしていないので、通過道路に見えるだけ。
- ★国分寺3・2・8が開通した際に、小平の府中街道部分の渋滞が増えること
- ★府中街道の改善は必要・歩道・自転車道

3グループ

《発表シート》

グループ番号	3	メンバー人数	7名		
メンバー構成(お住まいの地域)					
津田町1丁目	1名	津田町2丁目	1名	上水南町2丁目	1名
上水新町3丁目	2名	小川町1丁目	1名	上水本町1丁目	1名
発表シート記入事項 (テーマ:交通、環境などで心配すること・期待すること)					
<p>(1) <u>市民の意見を計画に生かし、再検討してほしい。</u></p> <p>(2) <u>正しい交通量予測にもとづいて、道路計画を見直し、再検討してほしい。</u></p> <p>(3) <u>道路は2本必要か?府中街道の改良で解決。</u></p> <p>(4) <u>大型道路高速交通(60km/時)で交通事故が増え、生活が危険に。</u></p> <p>(5) <u>こどもの教育環境をおびやかす。</u></p> <p>(6) <u>小平市の貴重な財産。玉川上水と雑木林を残す道路計画を作ろう。</u></p> <p>(7) <u>環境アセスメントが不十分。やり直しを!</u></p>					
<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>◆…赤い付箋(心配すること) ■…青い付箋(期待すること)</p> <p>★…黄色い付箋(改善策)</p> </div>					
<p>■市外への移動 時間の短縮可 ◆スピードを出す車増え交通事故増</p> <p>◆22%の根拠は 他の資料では42年5%ていど その後は減少</p> <p>◆一小やたかの台幼稚園の大気汚染、騒音、振動、教育環境として適当?</p> <p>◆遮音壁ナシの場合の騒音評価されていないが実際は作らない可能性ある</p> <p>◆60km/hということは横断歩道もないだろう。現40km/h</p> <p>◆大型車両がふえて、騒音が心配 ◆騒音 振動 大気汚染 健康被害</p> <p>◆三角地帯は大へん。予測をせよ。50,000~90,000台</p> <p>◆国交省の42予測では都の交通量の増加は5%。予測のやり直しが必要である。</p> <p>◆3・2・8の33,900台の発生する要因は、周辺の道路事情は混雑していないのでありえない。</p> <p>◆道路を整備イジ管理することに莫大なお金がかかる。</p> <p>★ワークショップの意味 市民の意見を計画に生かす方法の検討</p> <p>★クランクの所を斜めに通す ★情報を教えてほしい!</p> <p>★このワークショップの内容を市長・都にしっかり伝えてとりいれてもらう。</p> <p>★立退のない府中街道の改良再生を考えよ。</p> <p>★地下を通れば玉川上水は分断されない</p>					

《 3 グループ発表議事録(発表順:2番目) 》

まず、私たちが一番伝えたいことを赤で書いているが、市民の意見を計画に生かし、再検討して欲しい。前にも言ったが、ここでやっていること、ワークショップをして、終わってしまったということではなくて、やはり、ここでやったからには、その意見をちゃんと持って行って欲しいと、一番強く思っている。

次は、「正しい交通量予測に基づいて、道路計画を見直し、再検討してほしい」。22%の根拠というのは、他の資料では、平成42年で5%という、国交省の方の予測。それ以降は、さらに減少していくという予測もある。この間配られたパンフレットの予測というものは、果たして正しいのか、そこをまた再検討する必要があるのではないかと思っている。

「道路は2本必要か」。特にこの道路のところの、小平市の事情としては府中街道と平行して、ほんの短い距離のところを走るわけだから、そういうところは府中街道を改良することによって、そんなに無駄なお金を使わずにできるのではないかとということである。やはり、大きい幅の道路ができるということは、維持管理にもお金がかかるし、いろいろな意味で無駄なのではないか。府中街道が折角あるのだから、そこをきちんと利用するということが望ましいのではないかとというようなことである。

あと、「大型道路高速交通で交通事故が増えて、生活が危険に脅かされる」。ここは60km/hという制限速度になるが、今現在の府中街道は40km/hということである。60km/hのスピードで車が走るということは、横断歩道もそんなに作られないだろうという、そういう計画なのではないかと。ということは、本当にスピードを出す車が増えて非常に危険であるし、ここから発生する騒音や振動といったものは、本当に生活者を脅かす、そういう道路を計画しているんだということを、私たちは再確認する必要があると思う。

「子供の教育環境を脅かす」。子供とかお年寄りとかの弱者の人にとって、非常にそういう大きい車が通ったりスピードを出したりするところは、本当に危険であり、しかもその一小やたかの台幼稚園というのは大気汚染やそういったものに常に脅かされる、そういう状況で子供たちに学校に通わせるということは、親もそうだし、みんなとても不安に思うと思う。

それから、「小平市の貴重な財産、玉川上水と雑木林を残す道路計画を作ろう」。それにはいろいろな、クランクのところを直すとか、先ほどの府中街道を改良することによってできるのではないか。それから、地下を通すという意見も出ていた。

それから、環境アセスメントが不十分なのでやり直して欲しい。先ほどの交通量のこともそうだし、それから、例えば遮音壁なしの場合の騒音評価がされていないが、実際は作らない可能性があるのではないか。そのところはどうなっているのだとか、いろいろな意味で、まだ環境アセスのこの間の発表は不十分どころがいっぱいあるというように思っている。なので、それらのことを全部、考慮した上での再検討が望まれるということである。

あとそれから、実は私は、遊び場の活動をしていて、この林の中で活動しているが、8月に毎年そこで夏休みの活動をするために、(水と緑と)公園課の方に場所取りに行くのだがこの間行った時に、8月はもしかしたら使えないかもしれないというようなこ

とを言われた。

その辺のところは、すごくびっくり、寝耳に水といった感じだったが、いきなりここから先はもう立ち入り禁止ですということがあるのかどうか、そういった情報も教えて欲しいと思う。いきなりそんな風にならないことを祈るばかりである。

《グループ内で出されたその他の意見》

【テーマ】交通、環境などで心配すること・期待すること

〈改善策〉

★超党派的な行事を

◆…赤い付箋(心配すること)

■…青い付箋(期待すること)

★…黄色い付箋(改善策)

〈心配すること〉

(教育環境)

- ◆幼児や小学生はぜんそくになりやすい。予測をせよ
- ◆子の健康 心配 ◆地表の温度が上昇する。アスファルト
- ◆一小は青梅・3・3・3 3・2・8府中 合計90,000台にかこまれが予測していない。やり直せ
- ◆鷹の台幼稚園の目前を通る ぜんそくが発生する
- ◆通学路や遊びに行く途中の道が危険になる

(住環境)

- ◆騒音の予測がアセスは58デシベルだが、住民の新青梅調査では68デシベルアセスはやり直せ
- ◆雑木林の大半がなくなって、野鳥、虫など生きものが減少、住民・子どものくつろぐ場、遊ぶ場失われる
- ◆五日市街道の渋滞 排気ガス影響大
- ◆大型車の騒音は70～90デシベル これが予測されていない。予測せよ
- ◆植樹帯は店ポの商品搬入路のため計画通りすすまない
- ◆大巾な交通量増加が見込まれないのに貴重な緑、生活環境を壊すのは余りも惜しい。 ◆3・2・8と府中街道の間の生活環境悪化
- ◆店ポの大型化による高齢者 生活環境悪化(近所の店がつぶれる)
- ◆市民の願いがかなえられるか？

(通過交通)

- ◆通過車両がふえる ◆大型車両が生活道路に入りこんで危険。
- ◆誘発交通量増える！ ◆ねむっている車を動かす人が出てくる。
- ◆たかの街道の渋滞さらに悪化するのでは？

（歩行者にとっての安全）

- ◆ 3・2・8の通行速度のUPによる危険の増大
- ◆ 玉川上水を歩く人たちがながい横断歩道や歩道橋をわたることになる
- ◆ 歩行者 生活者は不便になる

（交通量予測への疑問）

- ◆ 現街道のすぐ隣に又つくるのは余りにバカげている。府中街道の改良を！
- ◆ 3・2・8は200～250億 府中の改良再生は50～70億（5m拡幅）
- ◆ リストラもあり過剰な投資 ⇒ワークシートに直接記載

〈期待すること〉

- ★ 林を残す。
- ★ 林をう回して残す。
- ★ 文書だけでなく、行動論（対市、対都など）の重視
- ★ 会の意見のききっぱなしでなく都との話し合いを設定せよ
- ★ 住民投票により賛否を問う
- ★ 都、市、住民で根本から計画を考え直す提案を！新しい公共のあり方。
- ★ アセスのやり直しをすること。
- ★ 私たちの意見を上げアセスをやり直す。
- ★ 第三次事業化計画は全面改訂か、廃止を（H18）
- ★ 現府中街道を改良する
- ★ 府中街道は危険 改良再生を
- ★ 府中街道の容量、流れの改善は必要。新しく造らずに別な方策を検討する。
- ★ 府中を改良再生すると交通も改善される

4グループ

《発表シート》

グループ番号	4	メンバー人数	7名		
メンバー構成(お住まいの地域)					
津田町1丁目	2名	上水本町1丁目	1名	仲町	1名
小川町1丁目	1名	学園西町1丁目	1名	栄町3丁目	1名
発表シート記入事項 (テーマ:交通、環境などで心配すること・期待すること)					
<p>(1) 水と緑の町小平の原点を考えてほしい</p> <p>■水と緑の町小平をいつまでも維持してほしい 未来の子供達の財産をなくしてほしくないです。</p> <p>◆市長は計画に対して立場を明確に、そしてその根拠を示すべき</p> <p>★新しい道路をつくらないで欲しい！！</p> <p>★水と緑の町小平の原点を考えてほしい。市長は小平を愛しているのでしょうか</p>					
<p>(2) 交通量予測と環境アセスのデータがデタラメ</p> <p>■交差点での環境調査を 緊急車両の騒音も入れてほしい</p> <p>◆環境評価数値は大丈夫と言っているが、実際は違う。(交差点等の調査なし等)</p> <p>◆交通量予測の根拠が不明確。各種数値を意図的に使っている？</p>					
<p>(3) 現在の府中街道を改善すれば十分</p> <p>★現在の府中街道を改善すればよいのではないか</p> <p>★現状ある道路を生かし切る</p>					
				<p>◆…赤い付箋(心配すること)</p> <p>■…青い付箋(期待すること)</p> <p>★…黄色い付箋(改善策)</p>	
<p>(4) 絶対的な環境の劣化</p> <p>◆中央公園の雑木林は市内でもトップクラスの緑の濃い土地だ。ぜひ残してほしい</p> <p>◆CO2、排ガス 公害(騒音、大気汚染 e t c)</p> <p>◆生きもの(人間含む)の為の環境喪失 自然の緑の喪失</p> <p>◆玉川上水 生態系の破壊</p> <p>◆空気がないと生きてゆけないのは人間も同じ！</p> <p>◆環境が悪くなる。玉川上水は歴史イサン</p> <p>◆現在でも玉川上水の環境は年々悪化している。さらにこわすのか。</p> <p>◆排気ガス 公害、大い</p> <p>◆交通量が多くなれば排気ガス</p>					

(5) この道路は危険ダ (災害時避難できない!) 町を分断

- ◆防災時のヒナンする道がない (三角地帯)
- ◆市内が分断され行き来が不便になる (高齢者が多い)
- ◆学区の分断。通学の安全に問題あり
- ◆道巾 大になれば横断に時間が掛る。危険である
- ◆中央体育館利用者の3・2・8道に入る車が増え危険が増す
- ◆鷹の街道、水車通りが現在より交通渋滞する。環境の悪化

(その他)

- ◆人間性の喪失。弱者をふみにじるような行為

《4グループ発表議事録(発表順:3番目)》

一番に挙げた「水と緑の町小平の原点を考えてほしい」というのが一番言いたいことで、みなさんいろいろあるが、新しい道路を造らないで欲しいとか、市長は計画に対する立場を明確にしろ、そうした根拠を示すべきだとか、それと水と緑の小平をいつまでも、ということを行っているなら、子供たちの財産ということで考えて欲しいということ。

それから2番目、交通量の予測環境アセスデータの問題。ここには「デタラメ」と書いたけれども、肝心の交差点とか緊急車両とかそういうような日常にある音がデータの中に入っていない。いわゆる、中間点のいいところだけ取った環境アセスのデータである。こういうことは、この道路を造るため、操作した情報で道路を造ろうと、そういうようなことに関わってくる。そういうことで、データをもう一遍、きちっとしたものを出して欲しいということである。これは先ほどの発表にもあったが、同じようなことである。

それから3番目、現在の府中街道を改善すれば十分。これは僅かな距離だから、今の青梅街道のクランクを緩やかにして、部分的に、交差点、いわゆるたかの街道とかそういったところの幅を広げれば、上水本町1丁目の交差点のように車道幅員をとれば、十分に渋滞は避けられるということで、新しい道路を造る必要はない。現在の府中街道を改善すれば十分、そういう意見である。

そして「全体的な環境の劣化」。これは、データどおりでいっても、現在、住宅街は静かであるが、ここの状態と同じようだが、テレビでいくと、実際うちがそうなのだが、23ぐらいでないと聴き取れない。一般の方は14~15で聴き取れる。これが24~25でないとテレビも楽しめない。というようなことで、環境。それから喘息のもとになる微粒子の測定もやっていないようだ。それから、家庭では涼しいときは窓を開けて生活できるのだが、沿道になったら窓も開けられない。クーラーもつけばなし。一般の電気代よりは2~3割高い。月1万5千円程度か。洗濯物も午前中ぐらいは外で干せるけれども、全部家の中で干さなければならない。そういう環境になってしまう。沿道対策を全然していないから、それをしないような道路を造ってもらっては今後困るということである。

それから、「この道路は危険だ」ということについては、町を分断して、特に津田塾のところと、たかの街道から上水までの間を、向こうへ逃げるとか、こっちにも府中街道がある、こっちも用が足りるから避難するまで交差点までいかなければならない。高齢者などは大変な距離になる。こういうような危険な道はいらないということである。防災時にも避難に大変困るという道路。特に、遮音壁を付けるとか、中央分離帯がこういう道路では、たとえ車が災害時に止まっても渡り切れない。交差点まで行かなければ渡れないと、こういう道路はいらないということである。それから、こういうことは弱者を踏みにじることで、子供たち、高齢者たちに対して、人と人との環境を守っていないというか、高齢者に冷たい道路だということではないということである。

《グループ内で出されたその他の意見》

【テーマ】交通、環境などで心配すること・期待すること

〈心配すること〉

- ◆交通の特に大きな道路の横断が難かしくなるのが心配。例えば、自転車の横断 老人の横断

〈その他の意見〉

- ・操作された情報で、道路をつくるのか！？
- ・民主主義に反している！！
- ・弱者を踏みにじるな！！
- ・未来の子供達に、自然とともに生きる環境を
- ・人と人が、ともに生きる環境を！！コミュニティー
- ・高齢者に冷たい道路 イラナイ
- ・おいしい空気がほしい

◆…赤い付箋(心配すること)

■…青い付箋(期待すること)

★…黄色い付箋(改善策)

4 平成24年5月19日(土) <<4日目>>

小平3・2・8号線まちづくりワークショップ スケジュール表(4日目)

【テーマ】

第4回 ~沿道の土地利用や周辺のまちづくりなどで心配すること・期待すること~

第5回 ~広域の社会や地域の産業などに対して心配すること・期待すること~

午後1時00分~午後1時10分	10分	開会・主催者挨拶・本日の予定説明
午後1時10分~午後1時20分	10分	昨日(第3回)の振り返り
午後1時20分~午後2時05分	45分	第4回話し合い
午後2時05分~午後2時30分	25分	各グループ発表
午後2時30分~午後2時40分	10分	休憩
午後2時40分~午後3時10分	30分	第5回話し合い
午後3時10分~午後3時25分	15分	各グループ発表
午後3時25分~午後4時25分	60分	フリートーク(全体での話し合い)
午後4時25分~午後4時30分	5分	まとめ・主催者挨拶
午後4時30分		閉会

*参加者の要望により、フリートークの時間を設けました。



【ワークショップの様子】

1グループ

《発表シート》

グループ番号	1	メンバー人数	7名		
メンバー構成(お住まいの地域)					
津田町1丁目	4名	上水本町1丁目	1名	上水本町3丁目	1名
小川町1丁目	1名				
発表シート記入事項 (テーマ:沿道の土地利用や周辺のまちづくりなどで心配すること・期待すること)					
<p>＜沿道利用＞</p> <ul style="list-style-type: none">・人が住めなくなる・大型店舗ができる・用途変更される・人を追い出す					
<p>＜周辺のまちづくり＞</p> <ul style="list-style-type: none">・閑静な住宅地を失う・まちこわし・たかの台商店街がシャッター街に・学園都市のイメージがこわれる					
<p>↓</p> <p>暮らしづらくなる</p>					
<p>＜小平市への要望＞</p> <ul style="list-style-type: none">・具体的に示してほしい(まちづくりビジョン)・都への働きかけは?・高齢化、少子化対策としてコンパクトシティをどう作るか?					

《1グループ発表議事録(発表順:1番目)》

1グループは、一番の年寄りが発表するということで、その点ご承知頂きたい。

まず、沿道利用だが、3つ、4つにまとめてみた。1つは、とにかく、人が住めなくなるだろう。特に、三角地帯の残るところは、棄民地帯だと思う。人の住めないところになるであろうというように考えている。

それから、大型店ができてくだろうという話。それから、用途変更は当然行われるだろう。用途変更が行われると、まず人を追い出すだろう。土地を持っている人はいいことがあるかもしれないが、固定資産税が上がる。我々にとっては大変なデメリットとなる。用途変更されれば高い建物が出てきて、今までさんざん言われているように、避難路だ何だと言っているが、そういう地帯ではなくなるのではないか、という意見が出てきている。

それで、ここに私が手にしているのは、実はこれ、小平市の第三次長期総合構想の方針案である。ここに書いてあることと比べてみると、全部逆である。周辺まちづくりの後で話をする。

周辺まちづくりとしては、とにかく先ほどから言っているように、閑静な住宅地ではなくなる。それから、まちづくりというよりは、むしろあの道路を造ることは街こわしであるということである。

これが大事なのだが、シャッター街になるだろうという意見があった。

それから、今まで出てこなかったのが不思議なのだが、この鷹の台というところは、学園都市小平としての、まさに中心的な場所だと思う。そういう学園都市としてのイメージが非常に損なわれるという意見が多くあった。

この2つを総合すると、いかに暮らしづらい街になるかということになる。

要望というのが出てきたが、ちょっと紹介すると、この長期構想の中で、「快適で、ほんわかとするまち」とある。言葉遊びである。「私たちのめざすまちは、緑が豊かな武蔵野の自然に囲まれ、環境にやさしいまちです。だれもが安らぎ快適な生活を送るとともに、地球環境に配慮した…」この後が私は解釈ができない。「賢いまちです。」と書いてある。この「賢いまち」というものを、私は理解できない。(参加者Aからの「それはどこの街ですか?」という問いに対し)小平市です。こうやって読み上げていくと、如何に3・3・8号線を建設することがこれに反しており、小平市への要望としては、まちづくりビジョンをもっと先に示して欲しい。3・3・8を造る前に、そういったものを示すのが先ではないかという意見。それから、初日からずっと参加しているが、このようにみなさんが一生懸命やった結果をもって、都へどのように働きかけるのか、これが一番問題だろうということが一点。そして最後になるが、高齢化、少子化対策として、コンパクトシティを目指すというのが、もともとの市の目標ではないのかと、そういうところにこの道路がどう整合していくのか、という結論になり、要望として掲げた。

《グループ内で出されたその他の意見》

【テーマ】沿道の土地利用や周辺のまちづくりなどで心配すること・期待すること

(沿道利用)

- ◆三角地帯は、正しく「棄民地帯」小平市民はいなくなるだろう。
- ◆新道路の両側が大型商業地になる可能性がある。
- ◆土地利用はおそらく運送業者関連の施設になるのでは。
- ◆沿道の土地利用区分が変更になり、高層、騒音店ぽができるのは不安
- ◆土地の用途が住民の意向に反して、変更される怖れがある。
- ◆住宅地から商業地へ住民が住む環境ではなくなる。
- ◆大型店ができる
- ◆固定資産税があがる⇒小平から出てゆくことになる。
- ◆高い建物がたつ→震災で道路がふさがる

- ◆・・・赤い付箋(心配すること)
- ・・・青い付箋(期待すること)
- ★・・・黄色い付箋(改善策)

(周辺のまちづくり)

- ◆青梅街道と府中街道のクランクはどうなるのか。
- ◆府中街道と新道路にはさまれた所の環境は最悪になる
- ◆宅地の間にある農地が無くなる。
- ◆学園都市小平のコア的領域が壊される。
- ◆小平は静かな学園都市の筈だが環境、特に住環境が悪くなる
- ◆閑静な住宅街が分断・破壊される
- ◆たかの台駅周辺の閑静な環境が破壊されることは明白
- ◆小平市の基本構想を示せ
- ◆どのようなまちづくりかという行政の基本的考え、事例研究がない。
- ◆市のまちづくりビジョンとまちがいなくむじゅんする
- ◆高齢化・少子化のコンパクト・町づくりに反している
- ◆移転を余儀なくされる住民に対する市の配慮が示されていない。小平市民だ。
- ◆弱い者いじめが加速する
- ◆必要な物を買いにゆくのが大変！
- ◆散歩する人が興ざめ
- ◆お年寄り、子供たちに危険度が増すのは明白
- ◆環境施設帯による快適な都市空間という意味が不鮮明、都は説明不足。
- ◆生活道路に進入する。都の見解はまちがっている。
- 良好な住環境を残す(=計画返上)
- ◆生活道路が途切れる
- ◆小平らしさがなくなりどこにでもあるつまらないまちに
- ◆子育てする人は子どもを連れて遠出しないと遊ばせられない
- ◆景観が悪くなる
- ◆たかの台商店会がシャッター街に！？

2グループ

《発表シート》

グループ番号	2	メンバー人数	6名		
メンバー構成(お住まいの地域)					
津田町1丁目	2名	小川町1丁目	1名	上水本町1丁目	2名
たかの台	1名				
発表シート記入事項					
(テーマ:沿道の土地利用や周辺のまちづくりなどで心配すること・期待すること)					
<p>(1) <u>小平市は市民の声を街づくりに反映する責務がある都の事業でも例外ではない</u></p> <p>(2) <u>大型店舗を誘致して商店街をこわすな</u></p> <p>(3) <u>子供の通学、ウォーキング、自転車での移動に60km/hの道路は危険</u></p> <p>(4) <u>土地を売りたい人にはメリットがあるが、全エリアを買収されない地権者、高齢者地権者(人生設計なりたたない)</u></p> <p>(5) <u>農地と自宅が分断される農家。往復が困難</u></p>					

《2グループ発表議事録(発表順:2番目)》

まず初めに出てきたのは、「沿道の土地利用や周辺のまちづくり」ということではないが、非常におとなしい紳士の方が、強い意見を書いていたので、採用しないわけにはいかなかったので書いた。「小平市は市民の声を街づくりに反映する責務がある都の事業でも例外ではない」ということである。これは要望になってしまうが、先ほどの1グループでもあったが、要望として書かせてもらった。

2番目は、「大型店舗を誘致して商店街をこわすな」というものである。大型店舗は、今この小川の北の方に、多少、「ドンキホーテ」とか「マミーマート」とかがあるが、近くに便利なお店ができることにメリットを感じないかと確認したが、それ以上に静かな街を守って欲しいという意見しか、我々のグループでは出てこなかったので、「大型店舗を誘致して商店街をこわすな」というのをそのまま書かせてもらった。

3番目は、通勤、通学、ウォーキング、それから自転車での移動で、自動車が60km/hのスピードを出せる道路は危険である、という意見。

4番目は、土地を売りたい人にはメリットがあるかもしれないが、と、先ほども参加者Bが同じようなことを言っていたが、地権者の方で農家の方が、特に固定資産税の負担が重いと言っており、そのような人からすると、農地をまとめて売る機会と考える人も、もしかしたらいるのかなということを書いた意見である。そういったメリットはあるかもしれないが、全エリアを買収されない地権者、家の敷地の3分の1だけ買うとか、あるいは、住めないが固定資産税・都市計画税だけの負担だけが残ってしまうような地権者がいるのではないか。現に国分寺エリアを歩くと、実際そういったお宅を見ることが出来る。それから、高齢で、今から引っ越しをするのが困難な地権者もいるだろう。このような人たちは、人生設計が成り立たなくなるのではないかという意見があった。地権者のことについて4番目に触れた。

5番目は、農地と自宅が分断される農家がある。実際、私の知り合いでもそのような農家がいるが、農家にとっては農地が職場であるが、毎日何往復もするケースがある。そういう人からすると、間に道路があると、通勤・通学で一日一回ではなく、行き来する頻度が高いので、大変困るケースがあるのではないかということを書いた。往復が困難ということを書いた。



《グループ内で出されたその他の意見》

【テーマ】沿道の土地利用や周辺のまちづくりなどで心配すること・期待すること

- ◆府中街道が渋滞との意見があるが、今迄に渋滞のニュースを聞いたことがなく、実状を反映していない。
- ◆自動車道路の沿道は小学生のぜん息が増加することは環境省調査でも明らかである。
- ◆玉川上水と雑木林をこわさないで
- ◆玉川上水沿いのロードは早朝ウォーキングの銀座通りだ。今の府中街道でも横断に苦労している。広い道路ができると人の渋滞ができる
- ◆住民のコミュニティ維持が難しい。広い道路でコミュニティが分断される。学区が分断される。
- ◆自転車は今や市民の主要
- ◆60km/hの道路は街を分断する。
- ◆上水本町1町目の小学生・中学生は3・2・8号府中街道と渡りキケン
- ◆住居群を328が分断し、学校区もめっちゃめっちゃになり大いに困る。
- ◆子供や老人にやさしい街を壊さないで
- ◆50年以上つちかわれて来た地域関係が328で分断することになる。
- ◆農家にとって農地と自宅の分断されるケース。不便になる
- ★農家にとっては、相続税が大きいと聞く。土地を売りたい人にとってはメリット
- ◆328建設で立のきをされる方は年配者が多く、その後の人生が不安になるであろう。
- ◆国分寺地権者の人、家を2/3だけ買収され、1/3だけ残る例
- ◆3・2・8号線に続いて3・3・3号と有り小平の街、緑と農地は壊めつ状態
- ◆小平市としての務め、権限と責務が有る。杉並のように住民の意見を聞き東京都の事業を止めて欲しい
- ◆「328道路ができて通過交通ノミとなるので、小平の発展策が必要」との考えがある。これは危険
- ◆市の地域懇談会で市は商業地区にしないと云ったが、マスタープランでは沿道サービス型の土地利用を誘導するといっているこれはどうゆう事か。
- ◆用地利用が住宅地から商業区に変わる可能性がある事を懸念します。大型店より静かな街
- ◆3・2・8道路沿いに大型店ポを誘ちしないでほしい
- ◆鷹の台商店街をこわさないでほしい
- ◆沿道は住宅地としては成立たない。
- ◆固定資産税、都市計画税が沿道で上がる事懸念

◆赤い付箋(心配すること)

■青い付箋(期待すること)

★黄色い付箋(改善策)

3グループ

《発表シート》

グループ番号	3	メンバー人数	6名
メンバー構成(お住まいの地域)			
津田町1丁目	1名	小川町1丁目	1名
上水新町3丁目	2名	上水本町1丁目	1名
上水南町2丁目	1名		
発表シート記入事項 (テーマ: 沿道の土地利用や周辺のまちづくりなどで心配すること・期待すること)			
<p>(1) <u>小平市の農住調和のまちを守るため、用途地域は今のままにしてほしい(第一種低層住宅)</u></p> <p>(2) <u>気軽に子ども同士で遊びに行ける環境が失われる</u></p> <p>(3) <u>大型店が増え、商店街が縮小 高齢者がくらしにくくなる</u></p> <p>(4) <u>府中街道の改良をする</u></p>			
<p>◆…赤い付箋(心配すること) ■…青い付箋(期待すること) ★…黄色い付箋(改善策)</p>			
<p>〈その他の意見〉</p> <p>◆大型店ができることで商店が潰れる。</p> <p>◆既存中小商店街の縮小による高齢者の生活不便。</p> <p>◆街の個性がなくなり、どこの道路添の町と同じ風景</p> <p>◆小平の農住、緑が共にある→どこにでもある殺風景な町</p> <p>◆静穏さを維持するため、作るとしても用途地域は住専のまま変更しないこと</p> <p>◆小学区に道路が通る心配 ◆気軽に子ども同士で遊びにいきづらくなる。</p> <p>◆4小学区、15小学区から中央公園へ遊びに来るのが危険になる。</p> <p>◆まちづくりどころかまちこわし。まちづくりの話などできない。</p> <p>■環8練馬では住居地区は半地下、ふたかけである。</p> <p>■安全上は平面ではだめ。半地下かトンネル。</p> <p>■四車線はいらない ■府中街道の改良をする。</p> <p>■長期計画に沿った街づくりをするべき。</p> <p>■車中心でなく、歩行者自転車中心のまちになるよう、道路は地下または現道利用にすべき</p> <p>■都に市民の意見を伝えるのが市の役目</p> <p>* 東京都多摩地域都市計画道路基本計画</p> <p>* 主要幹線道路は原則として小学校区、日常買物圏を分断しないよう配慮するものとする。</p> <p>* 小平市緑の基本計画 長期的に30%を維持できるようにする。(年々低下)</p>			

《 3 グループ発表議事録(発表順:3番目) 》

道路を造らないのが原則なのだが、もし造るとしても、「小平市は農住調和のまちを守るために、用途地域は今のままにしてほしい」。小平市は本当に何も無い不毛の土地であったところに、玉川上水ができて、小川九郎兵衛が農業を中心に発展させ、そこに大学ができたり、学園都市ができてたりして、今はすごくよい調和ができていると思う。ところが、そういうところに大型道路が走ることによって、大型店舗が増え、商店街が縮小して、シャッター一街になってしまう可能性がすごくあるのではないか。そういう、せっかく小平の歴史とともに伸びてきたこの街の個性が、全く奪われてしまっ、どこにでもあるような殺風景な場所になってしまうことは、私たちは望んでいない。

「気軽に子ども同士で遊びに行ける環境」、これはとても大事なことである。今、本当に子供たちは、やはり遊びの場もそうなのだが、大人の都合でどんどん都市化されることによって、子供たちは非常に苦しい状況になっている。そういった中で、ここに道路ができることによって、通学路を脅かされたり、友達同士が気軽に遊びに行けなくなるとか、地域センターや児童館に気軽に行けなくなるとか、子供の生活にすごい悪影響が出てくるのではないかと考えている。

「府中街道の改良をする」。府中街道については今まで散々出てきているが、府中街道を改良することによって、ここに今まで書いてきたような懸念がないようにこれからしていけたらよいと思っている。それが我々の希望である。先ほど配られていた、「東京都多摩地域都市計画道路基本計画」には、主要幹線道路は原則として小学校区、日常買い物圏を分断しないよう、配慮するものとする、と書かれているそうである。ということは、我々がここでこうなって欲しいということと矛盾がないというか、東京都の計画、思っていることが同じ方向を向いているものだとすれば、これはそのようにしてもらえない。小平市は、「小平市の緑の基本計画」に、今だいたい30%ぐらいの緑の場所があるというところを維持していくということが、小平市の基本方針にもあるそうである。年々これは低下していく傾向にあるので、最低限そこを守っていかうという計画があるということなので、そこにも矛盾しないようなものにして欲しいと思う。小平市はやはり私たち住民の意見というものを、都にちゃんと伝えていってくれるようにするのが市の役目であると思うので、是非今回のこの私たちの話し合いを無駄にしないで頂きたいと思う。

《グループ内で出されたその他の意見》

【テーマ】沿道の土地利用や周辺のまちづくりなどで心配すること・期待すること

- ◆沿道の用途地域が変わり、高層の商業施設が建ち、町の雰囲気が変わってしまう。
- ◆高い建物がたってしまう。日陰、ビル風
- ◆小川のようなドンキ・ホーテのような大型店
- ◆町の歴史とともに必然性を持って生まれた商店街やコミュニオンがこわれる。
- ◆緑の心地よいくらしがおびやかされる。
- ◆高層マンションの住民は公害にさらされる。
- ◆大型店舗は造らせないこと。周辺地域が駐車場化する。
- ◆道路から50m範囲が大型店舗の占有される。
- ◆広い道路ができることで地域が分断される。
- ◆安心して散策し、静かに暮らせる。子どもたちを遊ばせられる町でなくなってしまう。
- ◆現3・2・8号線のものぞましい解法①府中街道の交差点右折②青梅街道と府中街道クランク
 - 大型道路を作らず府中街道のスイスイプランなどできる策を行う。
 - 低層の住宅しか建てられないよう規制する。
 - このままの地域が最善。これをこわしてはならない。住専のまま。
 - あらたに道路予定地になった方に手厚い保護をする。
 - 環境を守り道路を大切にす。
 - 小平市の財産である自然を生かしたまちづくりをしてほしい。
- ◆殺風景などこにでもある街
- ◆この道路は居住環境を破壊分断する。これは都市計画ではない。計画は廃止。
- ◆農住調和地区、大型店や工場はだめ
- ◆農家の畑をつぶし景色が淋しいものに
- ◆用途地域をかえると農地がなくなるのではないか。
- どうせ作るなら、自動車が入れない商店街（高齢者向アーケード付）を計画道路に直交させる。

- ◆…赤い付箋(心配すること)
- …青い付箋(期待すること)
- ★…黄色い付箋(改善策)

4グループ

《発表シート》

グループ番号	4	メンバー人数	6名
メンバー構成(お住まいの地域)			
津田町1丁目	1名	上水本町1丁目	1名
小川町1丁目	1名	学園西町1丁目	1名
		仲町	1名
		栄町3丁目	1名
発表シート記入事項 (テーマ:沿道の土地利用や周辺のまちづくりなどで心配すること・期待すること)			
<p><u>(1) 現在の街が一番良い</u></p> <p><u>(2) 今回のW/Sのまとめを市の建設委員会で議題としてほしい</u></p> <p><u>(3) 既に(府中市内)開通している所の環境調査</u></p> <p><u>(4) 地下道の設置</u></p>			
<p>〈その他の意見〉</p> <p>■建設委員会でWSのまとめを議題として欲しい。</p> <p>◆すでに完成して供用している府中の公害対策はどうなっているのか、具体的に発表してほしい。</p> <p>◆市民憲章との矛盾・花・林・玉川上水・グリーンロード・400本余りの木。</p> <p>◆道路をはさんで分断される。</p> <p>◆現在の街が一番良い。新たに街づくりする必要ない。</p> <p>◆コミュニティが分断されて、生活に直結する土地の使い方が、不便になるのではないか。</p> <p>◆大地主や土地買収によるマンション建替が増え、街が壊れ、コミュニケーションが無い街になる。</p> <p>■地下歩道の設置(災害時の避難、三角地帯の解消)</p> <p>■遮音壁は防災上の問題・不要だ。</p> <p>■中央分離帯はスピードUPになり、騒音の原因になる不要。貴重な小平の土地減らさない</p> <p>〈税金の無だ〉</p> <p>◆青梅街道の北側の府中街道は拡幅されてから、生活者の交通が不便になった。こんなことにならないようにしてもらいたい。</p>			
<p>◆…赤い付箋(心配すること)</p> <p>■…青い付箋(期待すること)</p> <p>★…黄色い付箋(改善策)</p>			

《4グループ発表議事録(発表順:4番目)》

私たちは、今日のテーマはあるわけだが、今日はワークショップの最終日になるということで、まとめに入っている感じである。もう再三いろいろな議論をして、細かい個々の問題では、みなさんご理解頂いているので、読んでもらえればわかるが、現在の街に何もしないのが一番良い私たちの提案である。結構幅広い道路が、この周辺にももう既に開通したり、工事されているが、一見整ってきれいに見える。しかし、どこの街にいても同じ風景、そういう景色になってしまっているということは、先ほどもあったように、玉川上水とともに発展した、昔は一面尾花だらけの何も無い不毛の土地だったところだから、そういったところがやっと発展してきて、今に至っているわけだが、現状ではかなり傷んでいる。これ以上、街を変えないでくれ、というのが我々の一番の意味である。

それから、先ほどから出ているのであまり詳しく言うつもりはないが、市民憲章との矛盾、それから一方では、「花いっぱい運動」などで、それなりの意味はあるかと思うが、それよりももっと重要な本当に大きな植栽というか雑木とかいうものを、環境に関しては今の時代には重要なものであろうということである。これも既に出てきているように、街が分断されるというのは、みんなが承知しているとおりである。

これからあとどの程度の時間がとれるのか分からないが、ワークショップのまとめの方法または活用について、特に市の建設委員会において市長に対して諮問というのか、そういうタイミングがあると思うのだが、是非、我々がこの4日間でまとめた内容を議題にして、その数値とか根拠とかがおかしいのではないかという議論があったが、まさにそういう議論を、市議会で、建設委員会でやってもらい、それを都に持っていくということをしなさいといけない。昨日、私は最後に質問をしたが、ここでまとめたものは反対というか、今のままでよいという意見が圧倒的に多いが、道路はいらないという意見をそのまま持っていても、根拠は何なんだと反論された時に、市民がワークショップでまとめた意見である、では何の効果もないので、建設委員会のような公の機関できちんと公開して数値を公表して、妥当か妥当ではないのかという議論に発展させていかないと、この4日間は意味のないものとして終わってしまうのが心配である。

それから、すでに府中病院、根岸病院のところまでは、非常に立派なきれいな道路ができてはいるけれども、そこでのできた後の環境調査、プランの時の数値と開通して車が走った後の実績の評価、それについてもいろいろと問題が出ているという話なので、それに対して都がどのような対応をしようとしているのか、あるいはしないのか、その辺を市議会や建設委員会などで検証して欲しい。

4番目は少しトーンが違うのだが、仮にできても、街を分断するとかいろいろなマイナス面があるが、中央分離帯があって、災害があった時に道路を渡れないとか、あるいは普通の時でも、例えば地下道といったような、自由に行き

来できるような方策を考えて欲しいということなので、この3つとは違うが、せめてできてしまったら、このぐらいは考えて欲しいということである。

我々は既にこの3日間でいろんな議論が細かく出ているところなので、今回はそういうまとめ方にさせてもらっている。

《グループ内で出されたその他の意見》

【テーマ】沿道の土地利用や周辺のまちづくりなどで心配すること・期待すること

- ◆まちづくりの基本は、安心・安全だと思うが、その前提は精神的安定だ。特に、居住者の精神的問題をキチンと取り上げて欲しい。
- ◆街並みが画一的になってしまう。
- ◆狭い地域に2つの幹線道路は不要だ。土地利用法として最悪ではないか。
- ◆鷹の台駅前商店街の撤退
- ◆バイパス道路の為、沿道発展はない。
- ◆環境施設帯や中央分離帯があり、沿道利用は不便。
- ★渋滞緩和
- ★南北のアクセス改善
- ★幅の広い歩きやすい歩道

〈その他の意見〉

- ・騒音・振動の増加
- ・住民の方の騒音問題
- ・一住民のより良い居住環境の確保
- ・小平市が物流の通過市になる。(市の発展につながらない。)

◆…赤い付箋(心配すること)

■…青い付箋(期待すること)

★…黄色い付箋(改善策)

5 平成24年5月19日（土）〈第5回実施分〉

1グループ

〈発表シート〉

グループ番号	1	メンバー人数	7名		
メンバー構成(お住まいの地域)					
津田町1丁目	4名	上水本町1丁目	1名	上水本町3丁目	1名
小川町1丁目	1名				
発表シート記入事項 (テーマ: 広域の社会や地域の産業などに対して心配すること・期待すること)					
<u>(1) 広域社会より地域のコミュニティを大切に</u> <u>(2) 大型店舗の進出で近隣商店街が廃れる</u> <u>(3) 学園都市らしい環境が失われる</u> <u>(4) 農地が減り、農住調和地区といえなくなる</u> <u>(5) 通過交通が増えるだけでまちの活性化につながらない</u> <u>(6) 広域移動のためには、バスなど公共交通を充実してほしい。</u>					

【1グループ発表議事録(発表順: 1番目)】

今までと似たようなまとめが少しある。

1番としては、広域社会より、まず地域のコミュニティを大切にしようということ。大型店舗が進出して近隣商店街が廃れたり、学園都市らしい緑を中心とした環境が失われる。

農地が減って農住調和地区と言えなくなり、農業を続けていく人が少なくなってしまう。結局通過交通が増えるだけで、まちの活性化にはつながらないのではないかな。

広域交通というならば、バスとか電車とかの公共交通をもっと充実すればいいのではないかな、といった意見が出された。後は、遠くから来るウォーキングの人が減るなど、地元の産業にはいい影響はないのではないかなということである。

《グループ内で出されたその他の意見》

【テーマ】広域の社会や地域の産業などに対して心配すること・期待すること

〈期待すること〉

- 社会への影響 ■住民の意見を大切に！－地方自治－
- 緑を大切に！ ■人と自転車のための道づくり
- 地域産業への影響

- ◆…赤い付箋(心配すること)
- …青い付箋(期待すること)
- ★…黄色い付箋(改善策)

〈心配すること〉

- ◆都が主張している道路ネットワークの充実、多摩地域の活性化とは何か説明不足
- ◆東村山でも3・2・8をつくれというプレッシャーが高まる
- ◆3・3・8は埼玉でどうなるのか不明（無計画性）
- ◆防災上は新道建設以上に現道の整備が急務
- ◆広域社会よりコンパクトな社会活動が重要なのではないか。
- ◆農住調和地区という、学園都市という小平市に不要な道路
- ◆農住地域の農地が減る
- ◆小平市民は車で国分寺に行くのに、新道路は不便になる。
- ◆民主主義の形がい化 ◆市民の意見をどのように市政に生かすのか
- ◆弱者いじめ ◆コミュニティのはかい ◆税金のムダづかい
- ◆心の豊さへの影響 心配
- ◆道路で美しい街づくりができるというのはとんでもない誤り。都民にとっても安らぎが奪われる。
- ◆通過道路にすぎずまちの活性化にはならず。既存の商店の潰しになる。
- ◆六市間の通過交通の増大が小平の産業に益する？（公害増大は確実）
- ◆大型店舗の進出で地場の商業が衰退する
- ◆たかの台商店街をシャッター街にして都内の大企業を誘致して良いのか？
- ◆暮らしに必要な不可欠なお店の存続
- ◆近隣の商店街がすたれる。
- ◆将来社会は車社会でなく、公共交通の時代だと思うが。
- ◆広域移動なら車より公共交通の充実を
- ◆学園都市の適性を損なう ◆学園都市らしい水と緑の多いまちに
- ◆遠くから来るウオーキング人口のゲン少
- ◆地元の産業のためには周辺道路の充実を
- ◆車を呼び込むような施設を招かない

〈改善〉

- ★車をへらそう！ ★未来へ選択 価値観の転換 －幸福度－
- ★公共交通の充実 ★農業対策の充実

2グループ

《発表シート》

グループ番号	2	メンバー人数	6名		
メンバー構成(お住まいの地域)					
津田町1丁目	2名	小川町1丁目	1名	上水本町1丁目	2名
たかの台	1名				
発表シート記入事項 (テーマ:広域の社会や地域の産業などに対して心配すること・期待すること)					
<p>(1) <u>多摩の南北産業物流は本当に増えるのか(整備効果2ページ)</u></p> <p>(2) <u>通過交通を集めるといっているが、大いに誘発するのでは?(整備効果5ページ)</u></p> <p>(3) <u>東村山野口橋で2車線 ネットワークは所沢まで至らない</u></p>					

【2グループ発表議事録(発表順:4番目)】

出尽くした感があり、シンプルな内容になっている。

多摩の南北産業物流は本当に増えるのかということ。物流車が減っているということはあると思うので、そういうことを書いている。本当に減っている。私も調べている中で、物流車そのものの数が減っているというのは事実である。整備効果2に対して、ということを書いている。

通過交通を集めるといっているが、誘発するのではないか、周辺への影響という意味で書いている。整備効果の5ページに対する内容である。

それから、道路ネットワークということに対して、必要論になっているけれども、実は東村山の野口橋で2車線になるので、ネットワークは東村山までで、所沢まで続くものではないということを書いている。

《グループ内で出されたその他の意見》

【テーマ】広域の社会や地域の産業などに対して心配すること・期待すること

〈期待すること〉

- 物流車にとっては、便利になる。

◆・・・赤い付箋(心配すること)

■・・・青い付箋(期待すること)

★・・・黄色い付箋(改善策)

〈心配すること〉

- ◆計画に対して都と市の関係 あまり強く主張できない関係 (も考慮必要)
- ◆農家がやる気をなくす事 懸念
- ◆当該地域は住宅地であり、かつ高齢者が多く、整備を期待していない
- ◆3・2・8小平は住民にとってメリットはなく、騒音と危険の原因だけである
- ◆小平3・2・8は地域にとって殺風景の大もとである。
- ◆東村山で2車線になり所沢までネットワーク致らない
- ◆”通過交通の排除”といているが、(5P)誘導する結果となるのでは
- ◆自動車に便利な道路ができれば、3・2・8は単なる通過道路になる。
- ◆”多摩と埼玉 神奈川のモノのうごき(P2)”はマチガイではないか
- ◆自動車交通の実体は市内交通量が大部分であることを示している。主要道より生活道路へ。
- ◆交通センサスの調査結果は隣接県との交通量の減少を示している。広域は本当に必要か
- ◆広域交通 自家用自動車交通から鉄道、公共(バス)へ
- ◆”産業道路”を計画しているのではないか

〈改善策〉

- ★南北の整備状況を考慮すると、府中街道改良で対応してもらいたい
- ★府中街道 ①クランク解消 ②右折レーン ③拡幅
- ★新しい立退きの地権者には、市の予算の配慮も。
- ★産業流通は”鉄道へのモータルシフト”をすべき←モータリゼーションを卒業して

3グループ

《発表シート》

グループ番号	3	メンバー人数	6名		
メンバー構成(お住まいの地域)					
津田町1丁目	1名	小川町1丁目	1名	上水南町2丁目	1名
上水新町3丁目	2名	上水本町1丁目	1名		
発表シート記入事項 (テーマ:広域の社会や地域の産業などに対して心配すること・期待すること)					
<p><u>(1) このワークショップを無駄にしないでほしい</u></p> <p>★市は今後どうするか示してほしい。 ★ホームページではレポートだけでなく議事録を公開してほしい。 ★この中で道路計画に何人が賛成なのか、何人が反対なのか。</p> <p><u>(2) この地域にメリットはない</u></p> <p>◆外から人が来ることを期待するなら、むしろ今の自然環境をもっと徹底して守るべき。 ◆地域重視 広域に市民が奉仕しなくてよい。 ◆地域のメリットにつながらない ◆地域へのメリットが全くない ◆広域のためにだけこの3・2・8は考えられているのでは？ ◆地域の既存の商店街は衰退する。 ◆3・2・8は私達にはメリットがない。デメリットばかり、つくるべきではない ◆広域の流通が、地域にもたらすメリットを感じない。 ◆地域の産業にとっては、ダメージでしかない。 ◆通りすぎる町になる ◆産業道路としては少しはメリットあるかも知れないが、市民には全くメリットない ◆広域の流通のためだけの道路。交通量も減るのだから不要。 ◆36mの広幅は地域を分断し、人の移動をさまたげ、商業にデメリット</p> <p><u>(3) ほぼ全員が道路反対なので、どうしたら止められるか</u> <u>討議すべき</u></p> <p>◆ほぼ全員が道路反対なのでどうしたら止められるか討議すべき。 ◆五日市街道が大渋滞で使用できず東西移動困難 ★地元自治会への参加。地域・活動の活性化！ ★隣接市町村同士の交流と協力！ ★各党派、党が独自の開発プランを発表し、賛否を問う必要がある。</p>					

- ◆…赤い付箋(心配すること)
- …青い付箋(期待すること)
- ★…黄色い付箋(改善策)

(4) 必要ない。既に14本もある

- ◆府中街道が本線、3・2・8はバイパス。いらぬ。バイパスを必要とする交通需要がない
- ◆交通需要がないバイパスは必要がない。
- ◆府中で南北は十分さばける。埼玉から少ない。
- ◆町田、多摩と国分寺、小平、東村山間の交通は殆どない。南北は必要ない
- ◆3・2・8沿道は都の計画でも大規模開発はなく、産業道路ではない。
- ◆多摩の産業拠点は町田、多摩、立川、八王子、青梅で3・2・8は拠点ではない。いらぬ
- ◆ODでは町田－東村山間はゼロ
- ◆多摩川をはさんで北と南は別々な交通圏
- ◆3・2・8で生活道路が分断され、危険で不便になる。どれだけ横断歩道が維持されるか
- ◆南北道路は吉祥寺～立川 14本もある それは今混んでいない
- ◆吉祥寺通りから芋窪街道まで14本 混んでいない
- ◆環境をつぶしてまでのことは何もない。
- ◆上下ができていうが、交通上から小平はなくてもよい。上下は2車線で使えばよい

(5) 環境アセスが不十分！やり直しを！

★アセスメントのやり直しを！

* 3グループにて出された意見は、全て発表シートに貼付されております。

《 3 グループ発表議事録(発表順:2番目) 》

4 グループの発表を聴いて、こちらでももう出尽くしたということで、少し言いたいことをまとめてみた。

まず第1に、「このワークショップを無駄にしないでほしい」。これは本当に切なる思いである。ガス抜きので終わらないために、いろいろとどうすればよいのか考えて欲しいと思う。市は、今後どうするのかということを示して欲しいと思う。今回参加している人で、道路のこの計画に賛成者が何人、反対者が何人いるか聞きたいと思う。というのは、これをレポートにまとめる段階で、どのような形でまとめられるのかわからないが、こんな意見もあんな意見もあったという形にまとめるのではなく、方針が具体的になっていないと、市におまかせする形になってしまうので、賛成者が何人、見直しを求める人、反対者、批判的な人が何人いるのか、市の方で聞いて欲しい。

レポートは、是非、市民参加のもとで作って欲しいが、レポートだけではなくて、レポートを作成するもとになった今回配布された議事録も、ホームページで公表して欲しい。よく委員会などに参加すると、要録というものが作られるが、それがなかなか市民が思っているようなまとめ方をされていないということもあるので、迎れるように、個人データの公開に問題になるような内容ではないので、この件に関しては理解していただきたい。

次に、この地域に、この道路計画のメリットはないということ。先ほども出たが、広域のためだけにこの道路はメリットがあるのではないか、産業道路としては少しはメリットがあるかもしれないが、市民にとっては全くないのではないか。交通量も減るのに不要なのではないか、という意見が出ている。あと、地域を分断するのではないかとか、外から人が来ることを期待するのであれば、むしろ今の自然環境をもっと徹底して守るべきではないか、という意見も出ている。

それから3つ目だが、ほぼ全員が道路に反対なのだから、どうしたら止められるのかを協議するべきではないか、という意見が出ている。そういうことを話し合う時間を、フリータイムの時などに、是非作って欲しいと思う。

4つ目も殆ど同じだが、必要ない、既に南北道路が14本もある、という意見が出ている。配布した資料を見ればわかるが、南北道路は、立川から武蔵野までの間に14本完成している道路がある。しかもその14本は、警察の調査の結果では、殆ど混雑をしていないという状況である。朝晩は別である。従って、東京都は南北道路が足りない、しかも混雑しているというのは、明らかに嘘であるということになる。もうひとつの南北という観点から言うと、ここで言う南北というのは、多摩、それから町田が南で、府中はちょうど両方の接点、国分寺、小平、東村山が北の方だが、センサスの調査の結果では、H22のセンサスを見ても町田から東村山に行っている交通は0である。それから、多摩から東村山に行っているのも0である。それから、一番近い国分寺でもそうなのだが、多摩や町田から国分寺に入っている交通は、300~400台/日ということで、多摩川を境にして、南と北は南北ではない、正直言って南北交通

はない、ということである。あるのはむしろ府中街道である。府中街道が多摩川を渡って川崎街道に合流して川崎方向に行く交通はそれなりにある。現在でもなぜか知らないが、川崎街道を通っていくと、電信柱には「府中街道」と書いてある。そういうことで、東京都で言う南北というのは、見方が間違っていることになる。それと、3・2・8号線は、青梅街道から府中市の住吉町までバイパスである。本線ではない。住吉町でもって、鎌倉街道に合流している。鎌倉街道というのは、府中市の北府中の駅のところ、あそこが鎌倉街道の起点である。あそこを起点として、多摩ニュータウンを通して、町田に行っているというのが鎌倉街道である。これは現在の府中街道と1本に繋がっている。従ってこのバイパスは、交通需要がないことから必要ないということを報告しておく。そのほかにも、南北の道路ができているから要らない、造らないというわけにはいかないという意見があるけれども、小平は無くてもよい、上下（南北）は2車線で使えばよい、という意見も出ている。

5つ目だが、何度も書いているけれども、環境アセスメントが不十分である。環境アセスメントのやり直しが必要だと思う。このことは、この会の意思としても決めてもらってもよいのではないかと思うが、特に反対する意見がなければ、何度も出てきている意見であるので、この会の意見として伝えて欲しいと思う。

4グループ

《発表シート》

グループ番号	4	メンバー人数	6名		
メンバー構成(お住まいの地域)					
津田町1丁目	1名	上水本町1丁目	1名	仲町	1名
小川町1丁目	1名	学園西町1丁目	1名	栄町3丁目	1名
発表シート記入事項 (テーマ: 広域の社会や地域の産業などに対して心配すること・期待すること)					
<p>(1) <u>地域商店街の衰退</u></p> <p>(2) <u>バイパス道路のため、周辺メリットが少ない</u></p> <p>(3) <u>既存道路の交通改善 メリット大</u></p> <p>(4) <u>多摩地区の交通改善</u></p> <p>(5) <u>中央公園の災害設備の充実</u></p>					
<p>※ (4)、(5) 仮に整備された場合</p> <div style="float: right; border: 1px dashed red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆…赤い付箋(心配すること)</p> <p>■…青い付箋(期待すること)</p> <p>★…黄色い付箋(改善策)</p> </div> <p>〈期待すること〉</p> <p>■南北のアクセス改善 ■周辺の渋滞緩和</p> <p>〈心配すること〉</p> <p>◆バイパス道路の為、市として何のメリットもない 何も心配する事は無い</p> <p>◆用途地域変更への不安 ◆道沿いに(大型)店舗をまねかないでほしい</p> <p>◆道路と鉄道との関係をどうすべきか ◆通過交通の増大</p> <p>◆広域の道路交通の交通量の調査をもっと精確にやり直すべきだ</p> <p>◆市に「市民との協働に関する指針」(?)があり、良いことが書いてあるが、窓口の市民へ対応は事務的なことが多い。このWSも似たところがあるのではないか。</p> <p>〈改善策〉</p> <p>★幹線道路の踏切の立体交差推進 渋滞解消</p> <p>★中央公園の災害設備の充実(含、有効な利用)</p>					
<p>* 4グループにて出された意見は、全て発表シートに貼付されております。</p>					

《4グループ発表議事録(発表順:3番目)》

まず前提として、今までの発表の中で、だいたいの意見は出尽くしたという意見が出ている。その上で、まず1番目として、1番目と2番目で少しかぶっているところもあるが、通過交通が殆どだろうということで、「地域商店街の衰退」、「バイパス道路のため、周辺メリットが少ない」ということが、話として出てきた。後は、「地域商店街の衰退」で、大型店等が誘致されることはできれば避けて、用途地域の変更をせず、住宅街だとか緑が残るようなかたちにして欲しいという意見が出ている。

3番目で、今回の計画道路を造るよりも、既存道路の交通改善、踏切の解消だとか、そういったところを実施した方が、交通改善のメリットは大きいのではないかという意見が出ている。

4番、5番だが、仮に整備された場合という前提で、多摩地区全体で大きな目で見れば、改善は見られるだろうということと、この地域に入ってくる交通量等は当然増えるので、それに対応するための中央公園の災害施設の充実ということは実施されるのではないか、というか、して頂きたいという希望が、話として出た。

6 グループ発表終了後のフリートーク

参加者C： 先ほどの発表で申し上げたが、この道路計画に賛成か、反対かということ、この場で手を挙げにくければ、紙に書いて提出していただくとかして、数をデータとして残して頂いてはどうかということを提案したい。

小平市： 賛成、反対を数でということについて、多数決でできるかできないかということについては、できると思う。みなさんの個々の考えであるため。そういった感情を否定するつもりはない。しかし、一方で、開催状況をまとめてみなさんに示したが、今日の結果という意味では読んでわかるものである。そういうふうに言いたい人もいると思うが、逆に様々な思いを持って参加して頂いている方もいるので、市の方としては敢えてそのように挙手で数を把握するという考えはない。但し、話合っ頂いた結果というのは、昨日も話したように、開催状況として忠実に再現をして、みなさんと共有していくという考えでいるので、その辺りは理解頂きたい。

参加者C： 環境アセスが不十分である。環境アセスの見直しを求めたいということについて、是非この会の中で、多くの方が言ったこととして、都に伝えて欲しいと思っている。その件について、反対の意見があれば伺いたい。

参加者B： 大賛成である。この間、国会で自民党を除く議員が集まって、今のアセスの状況はどうかということをやった。この表題は、「ワーストアセスコンテスト」という。そこで1番目に出てきたのは、みなさんご存じのとおり沖縄の問題で、あれがワースト1であった。みなさんご存じか、最初受け取らなくて、翌日の朝こっそり届けた。あれはなんと7千ページもある。あんなものを届けられても、簡単には読めるものではない。ましてや、今、アセスというものは、まさに“アワセメント”になりつつある。これは、我々がみなさんの意見で、アセスをやりますということ、声を大にして言った方がよいと思う。

参加者E： やり直しは大賛成だが、やり直してもまた同じ結果にならないで欲しい。

参加者B： やり直して同じ結果になるはずがない。なったらおかしい。なぜならば、先ほどそこで発表する時に、小平市第三次長期総合基本計画という話をした。あの中で彼らが何を言っているかということ、だ

いたい過去の2回よりは、社会情勢の背景が全く変わってきているから、ここはもう発想転換をしなければならないとはっきりと言っている。

ということはどういうことかと言うと、人口は減ると。これについては、みなさんがずっと言っていることである。2050年になったら9千万人になると言っている。今、1億2,777万人ということであるが、これが1億をきる。9,500万人ぐらいになると言っている。それから、昨日か一昨日に出たが、国が既に、CO₂が400ppm/月を超えたと言った。これは初めてだと。黙っていたってよくなると言われているが、そんなことはない。現実には悪くなっている。それから温暖化。これもみなさん、毎日のように異常気象を感じていると思うが、これも国際的にみて、日本も含めて、毎年毎年、温度が上がっている。もう少しわかりやすく言うと、この30年間で、猛暑だった年は何回あったか。実は30年間では18回である。半分より少し多い53%ぐらい。おそらく、最近の10年間では何回か。なんと8回である。つまり8割が猛暑となっている。というように、気候変動がどんどん進んでいるということである。そういうことを踏まえたならば、もう1回アセスをやって同じ結論が出るはずがないと私は思う。

参加者D： 賛成、反対といろいろあるが、4月と5月と4回やった中では、私たち全体の意見の傾向というのははっきりしている。しかし、ここには賛成の方の意見が全然出ていない。本当は、それがあつたら是非聞きたい気持ちもある。問題は、この事業のメリット・デメリットについて、一つはデータが行政から十分に提供されていないということ。この点について、行政である東京都と小平市と、私たち市民が、とことんまで突っ込んで話し合いをしなければいけない。その上で、この道路のメリット・デメリットを明らかにして、造るべきか、造らないべきかということについて、行政が決めなくてはいけない。そのためには、アセスの見解書が出て、6月7日に都民の意見を聴く会がある。それが終わると、東京都は評価書を作ってしまう。評価書を作ると、アセスは終わりである。評価書が出たとともに、今度は都計審が開かれて、次は事業認可の手続きになるということで、非常に緊迫している状態になっている。従って、まずは、アセスのやり直しをしなければならないということを書いて、評価書を作らせないということである。評価書を作る前に、評価書は結論だから、いろいろ出てきている問題点について、話し合うべきだと、調査をしていないことについては調査をすべきだと、そういったことを私たちの意見としてまとめて、これは小平市が行政の責任として、市民からこれだけの要求や意見があるのだから、なん

とかしてくれということ、東京都に対して要求をするというところに話を持っていかないといけない。参事はこの会の運営の責任者である。この場でどうのこうのは言えないけれども、やはりあなたは開発部の参事なわけだから、この意見を聴いて、自分が何をすべきかということとはよくわかるだろうと思う。従って、そういう点での決断というものを、あなたに期待したい。そういう点で、やはりもっと行政と話し合いを進める必要がある。そういう場が作られるよう、私たち住民もしなくてははいけないし、それから行政もそのことを受け止めるべきであるということ、意見として申し上げる。

小平市 : 行政の立場として堅苦しいことを申し上げるとすると、今、アセスの話も出たので、ご存知の方も多いかと思うが、アセスに対する6月7日という話、公述の日、ルネこだいらで行われるが、この辺については、前回の4月20日号の市報で載っていた。ちょうど22日までがそれに参加をしたい方の募集期間ということで、今日はまだ19日なので、そういう意味では、今話があったが、自分の声で意見を出すという機会がある。我々としても、今日はまとめの中でアセスをして欲しいという話もあったわけで、それも含めて市はみなさんと意見を共有していくし、東京都にも伝えていくということ、これを約束したい。

参加者A : 今、話があったように、6月7日に「都民の意見を聴く会」、「都民の意見を言う会」ではない。誰が聴くかということ、東京都の環境影響審議委員の方々が壇上に立って、あるいは行政の方々が聴くわけである。意見を述べるのは、都民が述べる。今、公述人というものを募集していて、来週の火曜日までが締切である。私はもう公述人に応募をした。先ほどの参加者Bも応募しているし、参加者Dも応募しているし、そのほか応募している人もいるかもしれない。公述人に応募する時に、意見の要旨を書けという欄があって、意見の要旨を書いた。その中に、これが環境影響評価書に関わる見解書というものであるが、7部あるので1部200円で先着順にお分けしたい。もう一遍、これをやり直せという意見をもう出している。そこで、そういう意見なのだが、もし私が公述人に選ばれたら、このワークショップに参加する全員がやり直せということ、ワークショップで言っていると、みなさんがもしいいよと言ってくれれば、こんなことを言ったら公述人に落とされるか、それは置いて、25人に入って公述人になれば、市民のみなさんに、こういったワークショップをやって、そこに参加された方、小平市の人みんなが言っているということ、声を大にして言いたいのだが、よいか。もしそんなことを言ってもらっては困るという人がいれば、言って欲

しい。一人でもいればそういう言い方はできないので、手を挙げて頂きたい。いないようなので、私が公述人に選ばれたら、このワークショップで参加した全員が、やり直せと言っているという、そういった言い方をさせて頂きたい。

参加者 D : みなさん、公述人に応募しないか。

参加者 F : そういう意味では、私は積極的な賛成ではない。みなさんほど深く勉強していないので、いろいろ分かっていないことがたくさんあると思うが、小平市に住んでいる一市民として、どんな感じなのかと思って参加した。こんなに圧倒的多数の反対意見が集まっているということに正直びっくりしている。もう少し、半々ぐらいになっているのかと思ってきたのだが、あまりにもアウェイな感じ。私自身は、条件付きではあるが、こういった道路はあった方がよいと思っている賛成派である。ここで一人か、二人ぐらいなのかと思うが。少しおとなしくしていようと思っていたが、折角なので。私は、今、子供が二人いて、4歳と1歳なのだが、小平市内に割と最近家を買って、これから末長くお世話になっていきたいと思っている。小平市はとてもいいところだなと思っていて、何がいかというと、グリーンロードとかはとても環境がよくて、すごく住みやすい町だなとそういうところを是非残してもらいたいと思っている。ただひとつ気になっているのは、渋滞が多いということを感じている。その影響なのか、細い道にも車がたくさん入ってきていて、歩道があまり整備されていないので、乳母車を押しながら移動する時に不便を感じる時がある。できれば、そういったところを改善できたらよいと思っており、今回の話し合いに参加した。いろいろ勉強させてもらってためになった。

参加者 G : このワークショップで、第1日から第4日まで、3・2・8の代替案として府中街道の改良というのが頻繁に出てきた。これは、ただ代替として、これはどうなの、と言っても、これはあんまり第三者には説得力がない。それで、代替するとすれば、こういう道路になって、このぐらい経費がかかるんだよ、というのを、具体的に試算すると、かなり説得力が出てくると思う。これをワークショップでやろうと思っても、こう言っては失礼だが、道路の設計及び価格の積み上げ、参加された人には難しいと思う。このワークショップを企画して実行している方々は、先ほど自己紹介を聞いたら、まちづくりに関係がある方が殆どであった。今度、都と折衝する機会があれば、具体的に、こういう道路でこうやれば、3・2・8は造らなくても大丈夫であるという案を、市の方でまとめて頂きたい。そ

れを我々にも教えて欲しいし、都にも説明して頂きたい。それがないと、何も対抗案がない。是非お願いしたい。

小平市： 厳しい要望を頂いた。今、こういった形で代替案を試算するといった考えはないが、近いところでは、ホームページの中では、例えば、玉川上水のクリアの方法について、アンダーパスや平面、オーバーパスといった形で、東京都の方で比較検討している。今のは玉川上水の例である。東京都の方で何も比較検討しないという訳ではない。そういった形で比較をしているケースもある。小平市としては、都として必要な道路ということでやっているの、今、話を頂いたことも、このワークショップの中で出た情報の一つといった形で記録として残し、東京都に届けるので、小平市の方で直接比較検討をする考えはないが、それは先ほどの例の転用といった形で、もしここで代替案を検討しようということになれば、そういう方向に行くのかもしれないが、相手もあることであるので、明確な返事はできないが、話の方は理解した。

参加者 G： 向こうから要求があれば作りますでは、勝負にならない。こうだから、検討してみたらどうか、と言わないと、説得力はない。世の中みんなそうだ。今の答えでは甘い。

小平市： 意見として承らなければならないと思う。しかし、それに対してもう少し踏み込んだ話をしなければいけないのかもしれないが、それ以上の回答はできない。

参加者 G： 是非、実現して欲しい。

参加者 C： 先ほどの環境アセスの話に戻すが、反対のために環境アセスメントの見直しを言っているように考えられたかもしれないと思い補足するが、環境アセスメントの中で、例えば遮音壁の話も出したが、遮音壁は住民のために設けられることになっていて、それによって音を遮る効果があるものであるが、見通しが悪くなったり、街の景観が分断されてしまうということもあって、府中などでは造られていない。実際に造られていないことが多いのにも関わらず、それを想定しない場合の騒音の予測が出ている。予測に沿って対策が立てられるので、十分に予測が行われていないと、対策が期待できないということがあると思う。沿道の住民にとっては切実な問題なので、道路の計画を見直すためというだけではなくて、その後のそこに住む人の環境を守るために、アセスメントは不備な点がたくさんあることが明らかになっているので、見直しが必要ではないかというの

が意見である。反対のためと受け取られたかもしれないが、そのところを理解して欲しい。

参加者H： 2年生の子供がいる。これまでの4回のワークショップで、概ね同じような意見がたくさん出ていると思うが、昨日渡してくれた資料のように、ひとつずつ細かくするのか、また、ここではこういう風に、環境アセスメントのやり直し、府中街道の改良、ということが毎回出ていたと思うが、そういうことを、今日なんとなくこの計画を賛成の方もお一人いたが、あまり発言が無かったので、大きくまとめて、こういう意見が出ましたということ、どういう風に伝えていただけるのか？ガス抜きにして欲しくないということで、大変気にしている。環境を守りながら、まず府中街道に右折レーンを造ったりすることもできるのではないかと。もしかしたらその為に、今まで道路予定地でなかった人たちが予定地になってしまうことも出てくるかもしれない、その場合どれだけ手厚い保障ができるのか？今3・2・8を1.4km造るとしたら、だいたい250億円と言われていて、府中街道を改良すれば30~40億円じゃないかということが、参加者Dの資料にもちゃんと出ている。そういうことを考えて、この小平ならではの環境の良さを守りながらも、道路のことも考えることができると思う。私は、都に意見書を出していますが、環境影響評価書案に係わる見解書も読ませていただきましたが、みんなが出した意見が、ちゃんと受け止められていない、結局、道路を造るという前提でしか話が進んでいない。道路の説明会で意見を言ったり、質問が出て、もう時間ですからとマイクを取り上げられてしまったりで、とにかくセッションがない。とにかく進めて行ってしまう、立ち止まらずに、50年前の計画をゴリ押ししていく。これから人口も減るだろうし、車も減るだろうし、この計画では子どもたちがかわいそうだと思う。この辺りでは、唯一この雑木林しか遊ぶ場所がない。玉川上水は歩くことがメインになる道なので、カブトムシを捕ったりはできるが、自然の中で遊べる林はこの地域ではここだけである。毎週、週末とかに、山等に連れて行ってあげたいが、なかなか余裕が無い。本当に切実な問題である。そういう人たちが沢山いるということ、市の職員の方もいろいろな立場があると思うが、自分の仕事として、みんなの意見を、大袈裟かもしれないが、一人の人間として、自分がどう思うのか、そういうことを中心に持って仕事をして欲しいと思います。

小平市： 何度もテーマを変えた中で、意見がある程度オーソライズされてきた部分があると思う。逆に、こういったワークショップというのは、比較的そういうふうに向向としてなるというようなことについて

て、先生から教わったことがある。そういうふうに、ある程度そこから分析をして、評価するといったことも一方ではあるのかもしれないが、昨日示した開催状況についても、こういった形でリアルにまとめた。なんとなく活字の塊で、我々も大急ぎで作ったもので、もしかしたら目移りしたかもしれないが、あれを基にもう少し見易くしていったら、我々としては事実、同じことが何度も出ていけばわかるので、その繰り返しも当然目にとまり、こういう意見が多いということがわかるような形で、レポートとしてまとめていきたいというのが我々の考えである。あった内容をちゃんと忠実にパンチするようにスタッフに指示をしており、昨日示したような形でみなさんに見てもらえるようにすることを心がけている。評価、分析というよりは、話があった内容、付箋に書いた内容を忠実に再現して伝えるようにし、それを東京都の方にも伝え、みなさんとも共有したいというような方針で進めていく。東京都の説明会の話もあったが、昨日も少し触れたが、我々もこの会を設定するに当たってはいろいろあって、その後、私も一生懸命考え、スタッフともいろいろと考え、一部、市民から提案頂いた中で、おそらくこういったやり方が、今考えられる最良であろうということで進めてきた。“つもりです”と本音では言いたいところであるが、事実、今日まで進めてきた。そういった意味では、従来の説明会のやりとりや、みなさんが意見を出すのとは、違った形で率直な意見が出たように思う。本当にいろいろな意見が出た。市の方で受け止めていかなければいけないことも数多くあったと思うし、東京都の事業ということで線を引かざるを得ないところもあるが、逆に東京都の方に見て欲しいし、今日、審議会等の話もあったが、審議会の委員にも見てもらった上で検討して欲しいというようなものがたくさんあるので、我々としては、一刻も早くまとめて伝えることが、事業の時計は回っているので、そういった意味では、早く伝えていく作業を、力を入れてやっていきたい。

参加者Ⅰ： 先ほどのワークショップでも出ていたが、東京都の長期計画、小平市の長期計画は、自然を守っていく、道路はそんなに必要ではないから分断するようなそういうことは極力避けるというような方針もあるはずだが、それを矛盾して、これだけ市民も反対しているのに、それでも造ることを曲げないのはなぜなのかということ、東京都にも小平市にも聞きたい。

小平市： シンプルな質問だが、非常に言い方が難しい。少し話がずれるかもしれないが、この担当をしている中で勉強させてもらっているが、先ほども出ていたが、よく昭和37年の計画という話、50年のゴ

り押しという話が出ていたが、計画当時の基になっているものは、三多摩全体で考えていたようである。その当時の東京は23区が東京で、こちらの方は、あまり東京ではないというか、23区に働きに出た人が寝に帰るところといった様子であったようだが、こちらの多摩地域も人口が増大し、もともとある道路だけでは、今後、如何ともし難いだろうという観点から、ネットワークという言葉でまとめると抵抗がある方も多いかもかもしれないが、そういった道路を造っていったようである。当時の小平市の人口は、昭和50年に6万4千人というようなフレームで計画を立てていたと記憶している。昭和37年以前で、小平市の人口は4万人とか5万人とかである。計画であるから、それぐらい増えるだろうと、線を引いて、その先を見極めようとやっていたと思うが、ここにきて、小平市の人口は18万人を超えている。最初に、小平市だけではなくて、いろいろな周辺の自治体で考えた人口フレームは、だいたいそのようなことをベースに、今ある道路が計画されている。長期ビジョン等との兼ね合いについては、過去からずっと積み上げて街を作っているところがあるので、なかなか否定し難いところというのは多いのだろうと考える。

参加者B： 今の話が一方的であるからひとこと言わせて欲しい。実際は、我々は37年からこの反対運動をやっている。37年当時がどうであったかという、まだ小平町であった。市になっていない。その年の10月に市になった。従って、ここの都市計画道路は、実は東村山の都市計画道路だった。当時の東京都の都市計画審議会で、どういうやりとりがあったかという、議事録をとっているが、何のやりとりもない。要するに、「こういう道路を造りたいのですが」と言って、議長が「ご意見ありますか？無いようですからこれで通します」と、こういうことしか残っていない。今、ネットワークという話があったが、ネットワークなどという話は、50年の間に、最近の15年ぐらいでそういう言葉が出てきた。これを造るための理屈付けをいろいろと考えてきた。だから、今あるような防災だとか、こんなのは最初から無い。ネットワーク論などももちろん無い。そういうような状況で、どういう線を引いたかという、要するに関戸橋から真っすぐに机上で線を引いた。我々は、当時折角土地を買って、家を建て始めた。周りは畑ばかり。なんで買ったばかり、家を建てたばかりのところへ線を引くのか、というのがそもそもの原点である。だから、市の話とはちょっと違う。誤解を招かないように言っておきたい。

参加者D： 今の市の、計画の発端や目的などについての理解の仕方が私と違う。今日、皆さん方にこういうものを一枚配った。「多摩地域都市計画道路基本計画の基本方針及び基準」というもの。これが多摩の都市計画の基である。これが決まったのが昭和62年である。この政策が今でも生きている。この中で言っていることは、今のネットワーク論があったけれども、この基準の基になったものは、都市計画協会というコンサルタントが、東京都あるいは多摩地区からの委託を受けて計画を作った。その時の作り方は、必要性のありかなしかの問題ではなしに、都市計画道路というものは、一定の間隔で、例えば住宅地域の中は700mないし900m間隔で東西南北真っすぐに造ると、これが都市計画道路であるという考え方が基本である。だから、要るか要らないかの問題ではなくて、多摩全域は更地であると思ってやったのである。街もない、道路もない更地に、これから都市計画を設定して、まず都市計画の施設として道路を造って、その道路を基にして、今度は地域づくりなり街づくりなりをやるといのが、この都市計画の基本の考え方、理念である。その点は、なぜ先ほどのような話をしたのか、行政が決めてやっていることなのだから、そこは正確に情報を流して欲しい。もう一度繰り返して言う。一定の間隔で、東西南北に、現在の街の状況は一切考えないで直線的に線を引いたものが、現在の都市計画である。従って、住宅地の中に線ができたり、あるいは学校の中に線が引いてある。病院があっても、病院の上に線を引いている。これが都市計画である。そして、いざ道路を造る時には、学校は邪魔だという。それがこの都市計画の基本的な考え方である。それに対して、冗談じゃないよという住民運動が全国あちこちで起きている。東京都でも起きている。だから、例えば環八の練馬の場合で言えば、環八はしょうがないだろうと。環八練馬は一種住専地域。現在の環八は半地下、蓋がけになっている。特に小学校や幼稚園の前は、完全な蓋をかけて、そこはお花畑にしたりしている。それから放射36号。これは小学校の校庭に線引きがしてあった。だけど、これも住民が猛反対をして、現在、小学校の地下を道路が通っている。例えばここで見たら、一小があって幼稚園がある。たかの台幼稚園の前に平面の道路を造るなんてとんでもない話である。もし造るのであれば、たかの台幼稚園の前は、半地下、蓋がけにしなければならない。一小の前もそうだ。それが都市計画なのだ。やはり、そういうことについて、行政が住民に対して説明する時には、正確な情報で十分に皆さんに話をして頂きたい。

参加者J： 昨日も最後に質問したが、今回のまとめというのは、行政としては、オーソライズというか、どういう形と認識して、市長なり、部

局の長なり、東京都に届けるのか。そこを明確にして欲しい。単にワークショップで集まった30人の人がこうだったと言うのか。もう一つは、昨日も申し上げたが、まずいろいろな問題が出たことに対して、市としてそれは違うよと、反論があると思う。無ければ無いでよいが、そういったことをきっちりした上で、報告書というかまとめをしない限り、ただ言いつばなしのものが羅列されているだけでは、報告をもらった側は何もしてないのではないかと、逆に反論されるのではないか。その2点について、市はワークショップのまとめをどうやって関係者に届けるのか、その内容について市として異議があるのであれば、明確にして、我々にも話し、もちろん疑義のある部分はあると思うが、一定の結論を求めて、また全員が集まるかどうかは別にして、我々を含め、ちゃんと関係者で議論して、今日が最後だからまとめをどのようにされるのかを明確にして欲しい。

小平市 : 今回のまとめの認識ということについて、今回に当たっては、先ほども都の説明会の話などあったが、ああいった形態のやり方では率直な意見が出ていない、また市民同士でも、先ほども私は条件付きだけれども賛成だという人がいたが、そういった様々な人が集まることによって、賛否も含めて議論をする場がなかったのではないかという要望があり、いろいろとやり方を考えた上で、ワークショップといったやり方とした。まずはこのように話し合いをして、どういう内容が出るのかは始めてみなければわからなかったわけで、当然、その前提としては市報でどういう方に来てくださいということもせず、こういうテーマで話し合いますので来てくださいということで、中立な立場でこの場を設けてきた。実際に話し合いがされて、たくさんいろいろな意見が出たので、我々としては、この結果、事実を、まとめていくと。当然、見えるようにして、東京都にもその結果を伝えていく。我々も当然見るので、その結果、内容によっては、市が対応しなければならぬところも出てくるかもしれない。都としても考えてもらわなければならないことがあるかもしれない。そういうように、話し合いをしてもらうことを大きな目的として、開催をしている。その後、市としても言うことがあるのではないかというような話もあったが、今日は話し合いをして頂くという立場でお邪魔したので、それに対しての見解ということになると、確かに違った話というのはあるだろう。しかし、今日は話し合いの場ということであるので、そことは一緒に混同しないで、話し合いで皆さんに意見出しをしてもらえることに集中して、従事してきた。今後はそのまとめに集中していきたい。市として、それに対してどのように考えるのかということについては、今日も審議会の話が出た

が、議会や市の都市計画審議会といった中で意見を諮って、いろいろと求められた場合には、当然、市の考えというのは話をしていくことになる。

参加者M： 今の発言と関係が深いのだが、前に参加者Cが質問した件について、このワークショップのまとめを市の方がどういうふうにして、それを私たちにも提示し、都に提出するかということについて、私は非常に心配している。どういうものが出てくるのか。それで、このワークショップの運営の責任者が取り扱うのは無理かもしれないが、この参加者がどれくらい参加して、そのうち道路に反対する意見が何人いたかということ、全体として把握する必要があると思う。それに基づいて、市がまとめた案を、市民でチェックさせてもらう。必要に応じて、反対、賛成意見、わからないというのもし入れなければならないと思うが、それを数字としてはっきりつかまえておく必要があるのではないかと思い、敢えてまた参加者Cの提案に賛成して、発言させてもらった。

小平市： まとめ方ということで要望を頂いた。先ほども触れさせて頂いたが、繰り返しになるが、事実を昨日配布したような形でまとめているわけだが、この場に参加した人数であるとか、そういったものは昨日の資料でも示している。その中でどういった意見が出たのかというのは、箇条書きなり発表の中で示されているので、そこを人数で把握というのは、否定はしないが、まずは話し合いの結果がどういいう感じであったのかというところを、記録をしたいと考えている。見た人はそれを数値化することは、そのレポートの中でできるといように考えているので、それが、1か2か3かという微妙な数値化のぶれはあるのかもしれないが、それ以上にそれぞれの意見の項目というのは、今回の中ではかなり反対の意向の強い意見が出てきたということで理解ができるものと思っている。数値化する考えはない。

参加者K： まずは、4日間、行政の人が、休みの日とか夜の残業の時間を使って、こういうワークショップを開催して頂いたことに感謝したい。私は5回発表させて頂いたのでたくさんしゃべったが、なるべく自分の意見は、周りに同じ意見の人がいない場合は、載せないようにしたので、今日やっと自分の意見を言いたいと思う。このメンバーの中で反対の意見が多いというのは事実で、他の人は言っていたが、数える必要がないのかなと思った。それが事実だと思う。殆ど反対に人が集まってきたと言える。何人かが言っていたと思うが、賛成の人の意見も聴きたかったと。私もそういうつもりだった。そこは

非常に残念だったと思う。反対の人30人弱が集まった意見を行政側として考慮して欲しいということは十分伝わったと思うが、これを行政側がそのまま市の意見とするということは難しいことであるのも理解する。それは自分がもし、行政に勤めている人間であったら、反対の人の会に出てきた意見だから、それだけを考慮することはできないと考えるからだ。ごちゃごちゃ言っているけど、どうして欲しいかということのをこれから述べたいと思う。まずは、賛成の人の意見を考慮に入れたような案を小平市として考えて欲しいということである。私は、このワークショップを開催するに当たっての請願活動をした。この林の横で、たくさんの署名活動を一生懸命やった。2,700ぐらいになったのではないかと記憶している。その時に感じたことである。林を利用している市民でも、この請願の内容は反対してくれという内容ではなかったが、話し合いをしたいという内容であっても拒絶する人がいる。それは、そもそも自分の個人情報を出したくないという人が殆どであるが、実際、道路を必要としている人がいるということがわかった。それから、請願活動をする上で、市議会議員と何度も折衝した。その中で分かったのは、市議会議員も約半分は道路が必要と考えているということである。だからそれは考慮しなければならないと考えている。それから、これは違うということを行っている参加者もいたが、すでに南北で4車線ができてきてしまっている。その時に、小平市だけが要りませんと、小平市だけがみんな環境が大事なんですと果たして言いきれぬのかと、自分が行政マンだったら非常に厳しいだろうと考える。それから都との関係もある。小平市は東京都の一部である。東京都が、道路ネットワークという言葉はおかしいと言う人もいたが、全体の計画を立てる立場である。そう考えていくと、私も反対だが、反対だけで、反対だから小平市は要りません、小平市の人はずっと1年以上前から思っていたことを今から言いたい。それは、小平市民が大事にしているものを守って欲しいというのはみんなから出てきた内容だと思う。それは静かな街であり、雑木林であり、玉川上水であるということだと思うので、ここに通さないで欲しいということである。具体的には、府中街道を改良して欲しい。一番やらなければいけないのは、青梅街道のクランクを解消して、一般のつながりがあるカーブした道にして欲しいということである。それから、府中街道とたかの街道の交差点の、たかの街道側にはあるが、府中街道にはない右折レーンを造って欲しいということである。それから、これをやらなければどうしてもおさまらないという場合に考えて欲しいのだが、最後は拡幅。五日市街道のところに関しては、新たにクランクが発生してしまうが、あまり近くない、150~20

0mぐらい離れているので、誘導をしっかりして、南から来た人は、右折して左折するというルートを通ればよいように考える。こういうことを言うと、今度は新たに立ち退きをしなければいけない犠牲者が生じる。実は私もそうなる。拡幅をすると。ただ、市民の立場に立って、小平市民の総意として、大事にしているものは何か、何を守らなければいけないかということを考えた時に、自分が仮にどくことになっても、雑木林や玉川上水は守らなければならない。みなさんが50年以上かけて作ってきたコミュニティは守らなければならないと考える。だからそういう案を考えて欲しい。行政連絡会ではそういう話はなかったと思う。地下案と上空案と平面案の比較であったと思うので、それを今から言っても東京都は検討しようかというふうになってくれるのではないかと期待している。都市計画法の中では、都市計画は東京都がやることになるような書き方になっているが、必ず市の、行政の意見を聴いてという欄がある。それはよくご存じだと思う。そこでは行政の立場で市民側の意見が言えるということであると思うので、その中では是非小平市の意見として、今のが全て賛同されるアイデアだとは思わないが、ひとつの案として、今日、フリートークになってから、私を含めて3人が府中街道の改良について言及した。3人の意見はあると思うので、こういう場においてそういう意見があったということで、是非検討して欲しい。

小平市 : 非常に重く受け止めた。我々もこれが終わったらいろいろなステージが待っている中で、そういった中でも、こういったまとめの中のひとつとして話をするということになると思う。お話を頂いたことに感謝したい。

参加者L : 昨日、4月の2回分の詳細なまとめを頂いて、今回の5月の分も似たような形でまとめを作って頂けると思うが、先ほどの話だと、その詳細なまとめから、一定の傾向を引き出して、何らかのざっくりしたまとめなどを作って、市の都市計画審議会や東京都に提出するのかどうか。昨日見せてもらった詳細なまとめとは別に、何かまとめを作るのか。もしそういったまとめを作るのであれば、ここに参加している人々の何らかの修正要望とか、加筆のお願いとか、そういったものをきちんと反映してもらえるのかどうか、確認等をさせてもらえるのかどうかを伺いたい。

小平市 : 言い方が上手くなかったのかもしれないが、まとめた後に傾向等をまとめるつもりはない。昨日渡した内容、昨日と今日でワークショップを1本追加しているので、かなり厚みが増してくると思うが、

ああいった形で話を頂いた内容を再現して、それをひとつとしてまとめて、東京都に伝えたり、市も他の機会に使用していくというようなことになると思う。我々は話し合いの場を設置するために事務局として携わっているので、その結果を定量化したりする考えはない。例えば、いろいろな人が見れば、その感想というものをまとめるというのか、こういうことが書いてあるのかということ、作った以外の人たちが、次の見た人の思いでまとめられることはあるかもしれないが、我々が伝えていく中では、何か1枚にまとめていいところだけをやるといったようなことは考えていない。そういった考えで、今後もレポート化に務めていくし、その前段で昨日と今日の分の開催状況を作って皆さんにお渡しし、こここのところは実はこういうふうに表現したかったということがあれば、今日配布したアンケートにいち早く書いて頂いても構わないし、第2段の昨日と今日の開催状況を送付する時も、同じような聞き方をするので、申し訳ないが期限は決めさせてもらうが、その中でここはこういうふうにしてということがあれば、それは反映していきたいと考えている。



